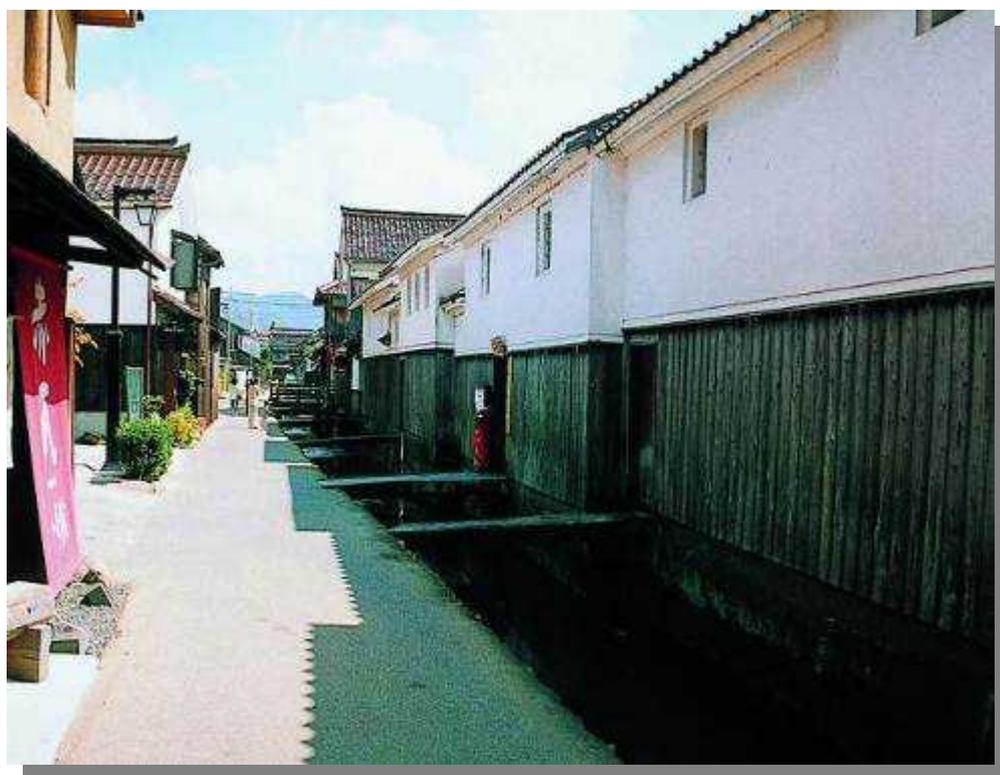


2011年度

(平成23年度)

# 海外技術研修員等 研修報告書



倉吉白壁土蔵群

鳥 取 県

## はじめに

海外技術研修員受入事業は、将来を担う海外の青年を「海外技術研修員」等として招き、必要な技術を習得していただくものです。母国の発展に貢献する人材を養成するとともに、県民との友好親善を図ることを目的としています。

鳥取県では1987年度、友好関係にある中国河北省から「農業研修生」「緑化研修生」として5名を受け入れて以来、2011年度までにブラジルから34名、中国から121名、モンゴルから21名、パラグアイから1名の合計177名を受け入れてまいりました。

このほかにも「韓国江原道職員相互派遣研修員」「外務省長期青年招聘事業研修員」「国際協力機構（JICA）自治体連携研修員」等として来県した研修員も韓国、モンゴル、ブラジルなど6カ国30名に上ります。

2011年度は、「海外技術研修員」としてブラジルから1名、モンゴルから1名の計2名が来県され、県内の各受入機関で研修を受けました。このほか、韓国江原道から「職員相互派遣研修員」1名、モンゴルから「JICA医療研修員」2名が来県され、県内の各受入機関において研修を行いました。

海外の地方自治体職員が日本の地方行政のノウハウなどを習得するための「自治体職員協力交流事業」では、1996年度から2011年度までにベトナム、韓国、マレーシア、中国から合計26名を受け入れております。2011年度は、中国から1名が来県され、鳥取県庁において研修を行いました。

また、ブラジルからの「県費留学生」も2011年度までで計59名となり、自治体レベルでの国際協力は着実に進展しております。

これら研修員の皆さんは、言葉や気候・生活習慣の違いという壁もありましたが、研修機関の熱心な御指導もあり、技術・知識の習得に励むことができました。また、研修期間を通じての日本語学習のほか、県内および国内各地を訪れ、日本文化への理解を深めるとともに、県民との交流に努められました。

帰国後は、研修や勉学の成果を十分に活かし、母国の発展に貢献するとともに、わが国との友好の架け橋となってくれと期待しております。

この報告書は、研修員が学んだ内容や日本や鳥取県の印象などをまとめたものです。研修員の皆さんの意気込みと成果を読み取っていただければ幸いです。

最後になりましたが、事業の実施にあたり御協力いただきました関係機関の皆様へ、厚くお礼申し上げます。

2012年4月

鳥取県文化観光局交流推進課長 門脇 誠司

# 目 次

2011年度海外技術研修員等一覧.....	2
海外技術研修員 .....	3
ヘルソン ユーゾウ カミムラ シミズ (ブラジル) .....	4
ツェレンドルジ・アリマントヤ (モンゴル中央県) .....	14
自治体職員協力交流研修員 .....	21
金 力 (ジン リー) (中国吉林省)	
韓国江原道相互派遣研修員 .....	29
鄭 行竣 (チョン ヘンジュン) (韓国江原道)	
県費留学生 .....	43
カチア エミ タダ (ブラジル)	
JICA医療研修員 .....	61
サンダグ トゥグスバヤル (モンゴル中央県)	
バトムフ ゲレルマー (モンゴル中央県)	
歴代研修員等名簿 .....	69
受入人数総括表 .....	71
海外技術研修員 .....	72
中国河北省技術研修生、河北省農林漁業研究者.....	74
中国河北省農業研修生・緑化研修生.....	74
中国黒竜江省農業研修生 .....	77
韓国江原道行政実務研修生 .....	77
自治体職員協力交流研修員 .....	77
外務省長期青年招聘事業研修員 .....	77
国際協力機構 (JICA) 自治体連携研修員.....	78
国際協力機構 (JICA) 医療研修員.....	78
ブラジル県費留学生、ブラジル短期再研修員.....	79

## 2011年度海外技術研修員等一覧

### 1. 海外技術研修員（2名）

国名	氏名	性別	年齢	研修分野	主な研修先	期間
ブラジル	ヘルソン・ユーゾウ・カミムラ・シミズ	男	24	人事管理	(株) インタープロス	2011.5 ～2012.3
モンゴル (中央県)	ツェレンドルジ・アリマントヤ	女	45	農業	鳥取県農業大学校	2011.9 ～2011.11

### 2. 自治体職員協力交流研修員（1名）

国名	氏名	性別	年齢	研修分野	主な研修先	期間
中国 (吉林省)	金力 (ジンリー)	男	26	商工行政	鳥取県経済通商総室	2011.5 ～2012.3

### 3. 韓国江原道相互派遣研修員（1名）

国名	氏名	性別	年齢	研修分野	主な研修先	期間
韓国 (江原道)	鄭行峻 (チョンヘンジュン)	男	46	畜産行政	鳥取県農林水産部	2011.4 ～2012.3

### 4. 県費留学生（1名）

国名	氏名	性別	年齢	研究分野	主な研究先	期間
ブラジル	カチア・エミ・タダ	女	27	化学	鳥取大学農学部生物資源環境学科	2011.4 ～2012.3

### 5. JICA 医療研修員（2名）

国名	氏名	性別	年齢	研修分野	主な研修先	期間
モンゴル (中央県)	サンダグ・トゥグスバヤル	女	39	産婦人科	鳥取県立中央病院	2011.9 ～2011.10
モンゴル (中央県)	バトムンフ・ゲレルマー	女	41	産婦人科	鳥取県立中央病院	2011.9 ～2011.10

# **海外技術研修員**

**(ブラジル、モンゴル中央県)**

## 1 研修員プロフィール



氏 名 ヘルソン・ユウゾウ・カミムラ・シミズ  
年 齢 24歳  
国 籍 ブラジル  
出 身 サンパウロ市  
研修分野 経営学

## 2 研修機関の概要

機関名 株式会社インタープロス

代表者 株式会社インタープロス 代表取締役社長 竹上 順子

指導者 株式会社インタープロス 教育プロデュース・クリエイト室室長 井上 圭子

## 3 研修経過

月 日	研 修 内 容
2011/5/31	来日（成田空港）
6/1	来県（鳥取空港）
6/2	日本語研修開始（鳥取県国際交流財団本所）（～2011.6/30）
6/9	鳥取県庁にて副知事表敬訪問
6/16	鳥取県国際交流財団主催 歓迎会
6/24	本橋会長（ブラジル鳥取県人会）来県歓迎会に出席 （株）インタープロス竹上社長と初めての打ち合わせ
7/1	米子市へ移動
7/4	専門研修開始（株）インタープロス
8/6	鳥取ブラジル友好協会主催 歓迎会 第47回鳥取しゃんしゃん祭りに参加
8/11	（株）サンイン技術コンサルタント見学、安全大会出席
8/13～22	夏期休暇（名古屋で父に再会、三重県の叔母を訪問、京都観光）
9/10	鳥取ガイナレの試合観戦（鳥取市）
10/12	「子どものための異文化理解体験講座」講師（岩美町立岩美西小学校）
10/5, 6, 13	（株）サンイン技術コンサルタントによる台風災害現場調査随員（大山）
10/15	美勇会 第10回コミュニケーションフォーラム出席

10/20	中堅リーダー（ブラジル鳥取県人会）鳥取県訪問に随行（米子市長表敬訪問他） 奥田様（淀江さんこ節保存会）宅でホームステイ体験
10/22	鳥取ブラジル友好協会主催 中堅リーダー歓迎会に出席
10/25	「子どものための異文化理解体験講座」講師（米子市立福生東小学校）
10/26, 27	(株)サンイン技術コンサルタント本社にて台風災害の写真編集に協力
10/29, 30	鳥取ブラジル交流団体連絡協議会によるコーヒー販売に参加（全国豊かな海づくり大会）
11/3	鳥取県国際交流財団主催「国際交流の集い—下町をたのしもう—」参加
11/4	「子どものための異文化理解体験講座」講師（鳥取大学附属小学校）
11/16	淀江さんこ節保存会で三味線稽古開始
11/21	(株)インタープロス竹上社長の広島出張に随行、原爆ドームを見学
11/22	「子どものための異文化理解体験講座」講師（大山町立名和小学校）
11/26	お寺で座禅体験（米子市淀江）
12/1	軽費老人ホーム福原荘にて餅つき体験
12/3	南部町国際交流協会主催スピーチ大会にゲスト参加
12/21～1/3	冬期休暇（栃木県日光市、東京都、三重県訪問）
1/21	沖縄県読谷村楚辺子ども交流会参加（銭太鼓、三味線披露）
1/23	第17回マリンガ市青年海外派遣団歓迎会に出席
2/24	鳥取県国際交流財団主催 送別会
3/2	鳥取市へ移動、平成23年度鳥取県海外研修員等の研修修了式及び送別会
3/10	帰国（成田空港）

#### 4 研修報告

##### (1) はじめに

私はブラジルのサンパウロ市出身の日系4世です。日本語は幼いころ家族から習い、また日本語学校でも何年間か勉強しました。2009年、サンパウロ州立大学の経営学部に入學し、そこで勉強する中で人事に興味を深く感じるようになりました。

ブラジル鳥取県人会では、1988年から毎年県費研修員を鳥取県へ派遣しています。希望するには鳥取県との繋がりが必要ですが、私の場合は母方の祖父と祖母が三朝町出身でした。2011年度の県費研修員が私に決まった時、光栄だと思いました。ブラジル鳥取県人会の皆様をはじめ、鳥取県庁の皆様、家族、お世話になった方々に感謝申し上げます。皆様の期待に応えられるように、この9ヶ月間を精一杯頑張りました。その結果をこれから報告したいと思います。

## (2) 日本語研修

日本語研修は、6月2日から6月30日の間、鳥取県国際交流財団本所で月曜日から金曜日まで4人の先生のお世話になって行いました。日本語の文字、語彙、文法、読解と会話を習いました。中上級の日本語教材を使いながら授業を受け、とても勉強になりました。ブラジルでは全く使わなかった言葉もたくさんあり、自分は日本語を何も分かっていないと感じました。



また、米子では休みの日にボランティアの方にプライベートレッスンをしていただきました。日本語の困っていたところを勉強しました。

皆さんのおかげで、日常生活、ビジネスで日本語に困ることは減りました。そして、12月に受験した日本語能力試験のN2に合格することができました。

## (3) 専門研修

### 株式会社インタープロス

2011年7月4日から2012年2月29日まで、米子市にある株式会社インタープロスで研修を行いました。インタープロスはコンサルティング、教育・研修、各種調査を行う教育コンサルタント会社です。

研修の最初の段階では、会社の業務全般と日本企業の基本ルールを学びました。挨拶言葉をはじめ、名刺交換、言葉使いを習いました。仕事の内容も少し習い、事務所に届く電子メールやファックス、郵便物の整理と報告を担当しました。仕事に慣れるまでに時間がかかりましたが、習ったことはとても重要だと感じました。

初めてのクライアントの打ち合わせでは、マナーも言葉もよくわからなくて、自分自身よくできていなかったと思います。この失敗を活かし、会社のビジネスマナーブックを集中的に勉強しました。

また、竹上社長が講師を務められる研修に出席し、とても勉強になりました。二人以上のお客様と名刺交換をする時の方法が一番勉強になりました。実際に何回も必要となったことでした。インタープロスはミステリーショッパー調査をよく行います。この調査は、顧客である店舗を調査員がお客として訪問し、店員の接客や店舗のクリーンネス（清潔さ）などを評価します。この調査員が入力したシートを私がパソコンで整理し、後に行う報告会で使う資料の準備を行いました。この作業を行う中で、お客様が満足する必要なポイントがわかるようになりました。

11月には竹上社長の広島出張に随行し、原爆ドームを見学しました。戦争の恐ろしさ、人間の恐ろしさに驚きました。自分の考え方が変わる経験でした。

一番大きな研修内容は、フロッピーデータ一覧表の作成でした。何百枚ものフロッピーからデータをパソコンに落とし、ファイル名を編集、そして一覧表に入力していききました。社内で使う言葉や、会社が行う研修の内容などが少しわかるようになりました。



#### (4) 社外研修

##### 株式会社サンイン技術コンサルタント

8月11日、米子市にある建設会社、株式会社サンイン技術コンサルタントの社内を見学させていただきました。その日に行われた安全大会にも参加しました。安全大会では現場で働く方が気を付けるポイントを習い、その日は夏だったので「熱中症」の対策も習いました。

10月5日、6日、13日には、大山周辺で現場体験を行いました。台風災害現場の写真撮影に同行させていただき、安全大会で学んだことを現場で見ることが出来て本当に感動しました。私の役割は、現場担当が写真を撮る際にメジャーを持つことでしたが、チームワークや“安全第一”ということを実感しました。現場で働く皆さんの一日を体験することができて、とても勉強になりました。

10月15日に美勇会「第10回コミュニケーションフォーラム」が行われました。私が最初想像していた内容は、参加者がスーツでプレゼンテーションを行うことでした。ところが、美勇会のフォーラムは運動会のような形だったので驚きました。社員の健康、チームワーク強化を考えて行われるフォーラムだと思いました。今回は、私はサンイン技術コンサルタントチームに参加しました。



10月26日、27日には、サンイン技術コンサルタントの本社で前回撮影した写真の修整を行いました。メジャーが隠れている写真を修整したりしました。気を付けるポイントが多かったため、目が少し疲れてしまいました。皆さんがとても大変な仕事をやっていることを感じました。

## (5) 文化交流・文化体験

### 第47回鳥取しゃんしゃん祭り

8月6日に鳥取市で行われた「しゃんしゃん祭り」に参加しました。傘踊りは踊ったことがなかったので、当日に鳥取ブラジル友好協会の方から踊り方を教わりました。最初は大変でしたが、本番はよく踊ることが出来たと思います。

また、パレードの時にアナウンサーが私たちの紹介をしました。その時、道路にいた子どもが「あれ？ブラジル人はいないよ」と言っているのを聞いて、子どもが考える「ブラジル人」と自分の外見が違っていたようなので面白く思いました。



## 子どものための異文化理解体験講座

10月と11月の間、鳥取県東部と西部の小学校で財団主催「子どものための異文化理解体験講座」講師としてブラジルのことを紹介しました。ブラジルの各地域の珍しい動物、祭り、伝統的な食べ物、ブラジルと日本の季節の違いなどを紹介しました。児童は、ブラジルの料理と祭りのことに本当に驚いている様子でした。特にブラジルのシュラスコ（焼肉）とクリスマスの時期の飾りのことに驚いていました。また、岩美町立岩美西小学校の児童かららっきょうをいただき、感動しました。冷蔵庫にあるらっきょうを見ると、いつも子ども達のことを思い出します。子ども達が遠い国に興味を持ち、楽しんでくれて本当に嬉しかったです。



## 第31回全国豊かな海づくり大会

鳥取市で行われた「第31回全国豊かな海づくり大会」に参加しました。鳥取ブラジル交流団体連絡協議会によるブラジルコーヒー販売を手伝いました。



## 鳥取県国際交流財団主催「国際交流の集いー下町をたのしもうー」

11月3日、米子市内で行われた「下町をたのしもう」に参加しました。米子の下町と中海を周る遊覧船に乗りました。何ヶ月も米子にいましたが、下町へ行ったことはなく、遊覧船のことも知りませんでした。新しい体験だったのでとても楽しかったです。その後、下町で抹茶を作る体験もしました。おいしい抹茶の作り方を習い、自分で点てた抹茶をいただきました。普通のお茶より少し苦味がありましたが、とても美味しかったです。



## 軽費老人ホーム福原荘の餅つき

12月1日に、米子市にある軽費老人ホーム福原荘で餅つきを体験しました。餅つきは日本で初めてだったので、少し緊張しました。福原荘の皆さんはすごく親切で、あっという間に仲良くなりました。はっぴを着て、皆さんの掛け声とともに精一杯餅をつきました。そのあと、ブラジルのことを少し紹介しました。餅つき体験や福原荘の皆さんと交流が出来て本当にいい思い出になりました。

## 南部町国際交流協会のスピーチ大会

南部町で行われたスピーチ大会に出席しました。英語、ドイツ語、中国語、韓国語のスピーチを聞くことが出来ました。英語の発表では、イングランドへの旅行の経験とノルディックウォーキングについての話を聞き、韓国語の発表では「ふるさと」の韓国語版を聞きました。皆さんのスピーチに感動し、私も自己紹介と日本の生活について話す時にスピーチのように日本語とポルトガル語で話をしました。

## (6) 淀江さんこ節保存会関係

### ブラジル鳥取県人会中堅リーダー

10月20日、ブラジル鳥取県人会中堅リーダーが来県され、米子を訪問された際に私も同行しました。最初に淀江さんこ節保存会の方と合流し、一緒に米子市役所へ行きました。その後、その方から銭太鼓の作り方と踊り方を習いました。その時に自分が作った銭太鼓をもらいました。

次に、米子市淀江にある高校で生徒の練習を見学しました。傘踊りをはじめ、三味線の練習も見る事が出来ました。銭太鼓の練習の時は、私も参加しました。

その日の晩は、淀江さんこ節保存会主催の歓迎会に参加し、皆さんと話をしながら淀江さんこ節に興味を持ち、ぜひ体験したいと言いました。これ以降、淀江さんこ節保存会のイベントに出席させてもらっています。



### 三味線、銭太鼓の稽古と沖縄県読谷村楚辺子ども交流会での発表

中堅リーダーに同行したことをきっかけに、淀江さんこ節保存会の方から招待を受け、11月から三味線、12月から銭太鼓の練習を始めました。初めて三味線を弾いた時は、手元を見ないと撥を糸に当てることも出来ませんでした。2ヶ月の稽古と自宅の練習を続け、見ずに撥を糸に当てる事が出来るようになりました。1月末の発表に向けて「さくらさくら」という曲の練習を始めました。簡単な曲だったので、2週間で弾けるようになりました。銭太鼓の練習時間は足りず、曲全体の3分の1を練習しました。自分のカメラで先生の踊り方を録画して、自宅で映像を見ながら練習を続けました。

1月21日、沖縄県読谷村楚辺子ども交流会がありました。沖縄の芸能発表と鳥取の芸能発表を行い、その際、淀江の方と一緒に三味線と銭太鼓を披露しました。間違えたところもありましたが、皆さんと一緒に楽しく披露することができて本当に嬉しかったです。



(7) 国内旅行



## (8) 終わりに

この9ヶ月間、日本社会や日本文化の知識をたくさん増やすことが出来ました。日系人として、鳥取県人会会員として、日本と鳥取県のことを深く勉強する義務があると思っています。今回の経験は個人的な成長の一つだと思っています。

また、日本の企業で研修することで、日本のビジネス文化も勉強することができました。将来、日系企業で働くことになれば、会社の皆さんから教えていただいたことを精一杯活かしたいと思っています。日本での日常生活で習ったことも、自分だけの知識にせず、周りの方に伝えるようにしたいと思っています。日本で習ったことは自分にとって、本当の宝物だと思います。

鳥取県庁の皆様をはじめ、鳥取県国際交流財団の皆様、インタープロスの皆様、サンイン技術コンサルタントの皆様、鳥取ブラジル友好協会の皆様、淀江さんこ節保存会の皆様などお世話になった方々に心から感謝申し上げます。

## 1 研修員プロフィール



氏 名 ツェレンドルジ・アリマントヤ  
生年月日 1967年3月7日 (44歳)  
出身地 モンゴル国中央県ジャルガラント町  
研修分野 農業

## 2 研修機関の概要

機関名 鳥取県農業大学校  
代表者 鳥取県農業大学校 校長 下中 雅仁  
指導者 鳥取県農業大学校 教授 長江 弘志、准教授 白岩 裕隆 ほか

## 3 研修経過

期日	研修内容
9/11 (日)	来日 (ウランバートル空港→仁川空港→米子空港)
9/12 (月)	農業大学校で野菜栽培を中心に研修開始
9/29 (木)	鳥取県栄養士会主催の「栄養指導・料理講習会」に参加
10/11 (火)	中間フォローアップ、日南試験地訪問研修
10/15 (土) ~ 10/16 (日)	モンゴル親善協会主催歓迎会 (東部、西部) に出席
10/31 (月)	副知事表敬
11/7 (月)	研修修了式、意見交換会
11/8 (火)	離日 (米子空港→仁川空港→ウランバートル空港)

## 4 研修報告

研修報告会で使用したパワーポイント資料をもって、研修報告とする。



## 研修報告書

### 鳥取県立農業大学校

モンゴル研修員 Ts. アリマントヤー  
2011年11月7日

## 主な研修内容

- ・ キュウリの栽培法、病害対策
- ・ トマトの病害対策、接ぎ木法
- ・ 芝の育て方
- ・ リンゴの育て方
- ・ スイカの接ぎ木法
- ・ レタス、にんじん、ブロッコリ、イチゴ、ニンニクの植え付け
- ・ 育苗培土作り
- ・ 学校行事に参加
- ・ 現地見学（農業大学校、その他）



① 堆肥をハウスに運送



② 肥料散布



③ 畝づくり



④ 透明マルチをかぶせる



⑤ 穴を開ける



⑥ 苗を定植する



⑦ 支柱に誘因

## 栽培中に発生した病気



● うどん粉病



● べと病

### ● トマトの生理障害



着果不良



裂果



カリシウム欠乏

### ● トマトの病気



疫病



モザイク病

## トマト接ぎ木法の実習



## 花、芝の講義



## スイカの接ぎ木法とスイカ収穫



## まとめ

今回も充実した研修をさせていただき、野菜の栽培法、病害対策、収量を増やす工夫等を学習しました。寒冷地では次のポイントを念頭に栽培することによって、より良い成果が得られることなど研修内容を広めて行きたいです。

- ・ 育苗は早期に行うこと
- ・ 環境に適応する品種を栽培すること
- ・ 施肥が不可欠であること
- ・ 温度を保つこと

最後にこの機会を与えてくださった関係者の方々、ご指導とご協力をいただいた学校の先生方、学生の皆様、モンゴル親善協会の皆様に心より感謝を申し上げます。今後とも研修成果の普及に頑張ります。



# **自治体職員協力交流研修員**

**(中国吉林省)**

## 1 研修員プロフィール



氏名 金力  
年齢 26歳  
国籍 中華人民共和国  
出身 吉林省白山市長白朝鮮族自治県  
研修先 鳥取県庁商工労働部

## 2 研修機関

鳥取県 文化観光局 交流推進課  
鳥取県 商工労働部 産業振興総室  
鳥取県 商工労働部 経済通商総室  
鳥取県 商工労働部 雇用人材総室

## 3 研修経過

月 日	研 修 内 容
5/29	来日（関西国際空港到着）
5/30	研修オリエンテーション
5/30	日本語研修開講（滋賀県大津市の全国市町村国際文化研修所）
6/04	スタディーツアーⅠ（日野町、近江商人館、彦根城など）
6/08	日本の抹茶体験
6/11	スタディーツアーⅡ（金閣寺、清水寺、二条城など）
6/23	日本語の研修最終成果発表会
7/07	日本語研修閉講式、滋賀県を離れ鳥取県に移動
7/14	知事表敬
7/08～7/31	日本語研修（鳥取県国際交流財団）
8/1～8/31	交流推進課 研修
8/09	新規 JET オリエンテーション参加
8/01～8/10	しゃんしゃん傘踊りの練習
8/10	境港、水木しげるロードの見学
8/14	鳥取しゃんしゃん祭の一斉傘踊り、県庁連で参加
8/25	第17回環日本海拠点都市会議（in 鳥取環境大学）
8/29	鳥取県立東高校と河北師範大学附属中学生の日中交流事業に参加（大阪）

9/1～10/31	商工労働部経済通商総室 研修
10/5、10/19	鳥取県立八頭高校で中国語を教える
11/01～12/27	商工労働部産業振興総室 研修
11/06	第25回鳥取砂丘らっきょう花マラソン大会 参加
11/09	「北東アジア物流新時代」会議参加、東京都内視察（東京）
11/11	「メッセ名古屋」視察、「とっとり企業人交流会 in 名古屋2011」参加（名古屋）
11/18	「中海ものづくりフェア2011」参加（松江）
11/20	国際理解講座（下北条）
11/23	第23回タイムフェスティバル 見学
12/3	第18回鳥商デパート 見学
12/09	「第42回東京モーターショー2011」視察（東京）
2012.1/04～2/29	商工労働部雇用人材総室 研修
1/18	鳥取県雇用対策協議会 参加
1/30	平成23年度第2回同和問題等雇用連絡協議会 参加
3/1～8	交流推進課 研修
3/6	副知事表敬
3/02	研修修了式及び送別会
3/09	帰国（米子空港）

#### 4 研修報告

##### (1) はじめに

私の出身地である長白朝鮮族自治州は中国国内の唯一の朝鮮族自治州であり、長白山の麓、鴨緑江の源に位置しています。長白山には豊富な森林資源があります。全県の森林被覆比率は90%以上を占めています。空気は非常にきれいです。美しい山や水のほか、朝鮮旅行、歴史的な観光スポット、人文に満ちた観光地など、様々な観光資源があります。

私が住んでいる吉林省は1994年に鳥取県と友好交流覚書を締結して以来、経済、教育、文化等の分野を中心に交流を行っています。

日本に来る前、私は吉林省長白県外事弁公室で勤務していたので、毎年日本との交流がありました。（私の主な仕事は、外国からのリーダーや領事館の方々を招待したり、我が県のリーダーが外国へ訪問する際のスケジュールを作ったりすることです。）ですから、私は以前から日本に非常に興味を持っていたので、今回応募し、鳥取へ来ることができました。

## (2) 日本語の研修

### 研修先：全国市町村国際文化研修所

滋賀県にある全国市町村国際文化研修所で6週間、高校時代に勉強したけど全部忘れていた日本語をもう一度ゼロから勉強し直しました。日本語の発音、語彙、文法、ヒヤリング、簡単な作文、面白い諺などを先生方に教えていただきました。毎日のテストや宿題などで大変でしたが、とても楽しかったです。スタディーツアーでは、滋賀県内と京都市内の数箇所の名所旧跡を回り、日本の歴史と文化を実感しました。その他、京都市市民防災センターへ行って地震、強風、火災などの災害を疑似体験することにより、災害時に必要な知識と行動力を学習しました。研修所では、いろいろな国の人と友達になって、一緒に勉強したり、バドミントンをしたりして、学生時代に戻ったように仲良く楽しい日々を送りました。とても充実した研修生活を過ごしました。



## (3) 専門研修

### 研修先：鳥取県文化観光局 交流推進課

交流推進課では、世界の国々と観光、経済、文化などについて、友好交流を行っています。世界各国に鳥取県のお土産、観光、文化などを紹介しています。私が研修した東アジア交流係は中国、中国台湾、モンゴルとの交流を進めている係です。鳥取県の経済成長を促進するために、いろいろなイベントで、鳥取県の観光、経済などを紹介し、外国人が観光だけでなく、投資にも来られるよう頑張っている係です。

一方、中国において交流推進課は外事弁公室と呼ばれています。基本的な仕事は同じなので、主な仕事は外国との交流です。外国に長白朝鮮族自治州をPRしたり、外国からのリーダーや、領事館の方々を招待したり、我が県のリーダーが外国へ訪問するスケジュールを作ったりします。外事部は一つのシティーの玄関口です。外国との交流の中で大変重要な役割を果たしています。

研修をしてみて、交流推進課は外国との交流するにいたるまでの行き届いた準備にはとても感心しました。まず、その国の民族の慣習や風俗などを詳しく調べ、それから綿密なスケジュールを立てます。中国の外事弁公室も日本のようにやったほうがいいと思っています。

逆に、鳥取県の主な観光区への観光バスの便数を増やしたり、主な観光スポットに観光案内センターや名産物販売売り場、交通、休憩所などの機能を備えた公共施設を建てた方が、より観光者が増えるのではと感じました。

#### 研修先：商工労働部 経済通商総室

経済通商総室は、通商物流室、経営支援室で構成されています。私は通商物流室で研修しました。通商物流室は、物流支援及び環日本海定期貨客船（DBS）関連業務など鳥取県経済の中核の役割を担当しています。

中国では、経済通商総室と同じような役割は経済局が行っています。県の経済に関する仕事を担当しており、県内にある工場、企業の生産と総合管理を指導しています。また、中小企業及び個人経済活動の発展を指導促進しています。ただし、物流部門は経済局とは別です。これは鳥取県とは違います。

研修中一つのこと気づきました。鳥取県のDBSはロシア－韓国－日本との物流だけです。しかし、新時代のアジアにおいては、経済発展が著しく巨大な輸出市場である中国を狙って、鳥取県は、珲春あるいは朝鮮の清津港や羅先から中国に入ることを考えていただければと思います。そうなれば、日本－韓国－朝鮮－中国－ロシアというもっと広いルートとなり、鳥取県のDBSをより多様化できると思います。また、観光客に特化したクルーズ船という新しいコースを作っていただければと考えています。

#### 研修先：商工労働部 産業振興総室

産業振興総室は、産学金官連携室、企業立地推進室、新事業開拓室、次世帯環境産業室で構成されています。私は産学金官連携室で研修しました。鳥取県には農林水産業以外に食料品関連産業と電気関連産業がありますが、農林水産業以外の産業はやはり他の県より弱いので、この室の職員は鳥取の経済発展のために新しい企業の誘致、既存産業への支援、革新、先端産業への支援などいろいろな政策を定めて、事業を展開しています。

##### ① 日本東京モーターショー見学と収穫

東京モーターショーの趣旨は新エネルギーの発展と環境保全です。東京モーターショーはまるでSF映画を見ているようでした。これは日本の自動車製造業の高い技術レベルの証明です。

日本の東京モーターショーに比べ、中国のモーターショーの歴史は短いです。現段階の中国のモーターショーは実用性と豪華さを大切にしています。中国経済の著しい発展に従い、自家用自動車が段々増えていっています。自家用自動車の利用増加につれ、エネルギーは前より更に多く使用され、環境もどんどん厳しくなっていきます。日本の街を歩いていると、トヨタ・プリウスプラグインハイブリッド車(PHV)を見かけます。ところが、中国では国民の考えや古い観念が強く、このような環境に配慮した車はまだ人気がありません。長い目で見ると、中国人はやはり日本人のように、環境にやさしい車を買ったほうがいいと思います。

##### ② メッセ名古屋2011の見学と収穫

「メッセ名古屋」は、地球温暖化を防止しながら、生物多様性への影響についての問題を解決するため、業種・業態の枠を越え、各出展者の持ちよる製品やサービスを当地名古屋から国内外に広く情報発信し、販路拡大や人脈形成を図る「国際総合展示会」であり、活発なビジネス交流を展開する「異業種交流の祭典」です。この展示会において、たくさんの方の中国の企業も見られました。参加した中国企業は皆さんのご存知のような労働密集型

の企業ではなく、ほとんどはハイテク企業でした。同じ中国人として、私は本当に嬉しかったです。

日本の産業振興総室は企業に法律、政策、新しい技術及び企業の権益保護などを支援しています。そして産業振興総室の職員達はよく大学で産業振興についての知識を学生達に教えています。学生達に偽者版の使用禁止を呼びかけています。

中国の産業振興総室はただ政策と資金を支援しているだけです。偽者版の反対と本物版の支持の宣伝は割に少ないです。中国も日本のように学生にもこの知識を教えるべきだと思います。

#### 研修先：鳥取県商工労働部 雇用人材総室

雇用人材総室は、人材育成確保室、労働政策室、雇用就業支援室で構成されています。雇用人材総室では、鳥取県内の求職者のために就業活動を支援したり、鳥取県内に優秀な人材を受け入れるための努力や労働環境を改善するためにいろんな政策を実施したりしています。

日本の雇用人材総室と同じ働きをするのは、中国では人力資源と社会保障部と呼ばれています。そこの主な仕事は公務員の公募と管理及び企業の社員、事業の社員、労務員のトレーニングを担当しています。そして、地方経済の発展のために優秀な人材を招き入れることも担当しています。

この二ヶ月の研修生活の中で、若者向けの人材バンク、高齢者向けの人材バンクと総合人材バンクを見学しました。求人内容の情報や問い合わせ、職業訓練などは非常に丁寧に対応されていました。ただ、様々なトレーニングの中で個人の創造力を鍛えるトレーニングがないようです。人は創造力がないなら、たとえ仕事をして、毎日簡単な仕事を繰り返しているだけの単純作業で終わってしまいますが、創造力が発揮できるなら、きっと素晴らしい仕事がたくさんでき、本人のやる気も高まると思います。

また、日本は男女の平等化と不自由な人の採用についての政策も中国より進んでいます。とりわけ、不自由な人の採用についての政策ややり方は中国も見習うべきだと考えています。

#### **(4) 研修以外の生活と活動**

外国での一人暮らしは初めてでした。日本に着いたばかりの時の新鮮さ、それからのホームシック、その後日本の生活に慣れたこと、このような体験を通じて、私は前より少し大人になりました。また、私より少し前に鳥取県に来ていた韓国からの研修生のお陰で、私は早く鳥取県の生活に慣れることができました。

週末や休みになると、友達と旅行に行きました。鳥取県内や大阪などすべて私の行きたいところでした。大都市から田舎まで、いろいろな日本の生活を体験しました。私は大都市の賑やかさより田舎の静かさ、きれいな空気、美しい景色、素朴な住民の方が大好きです。

旅行のほか、交流推進課の同僚達と一緒に砂丘のリレー競走にも参加しました。走りに

くい砂の中を懸命にみんなで走りましたが、残念ながら、優勝できず 15 位でしたが、特別賞を獲得し、サツマイモを一箱もらいました。

また、中国の国際交流員と一緒に県内の町へ中国を宣伝しに行きました。町民と餃子を作ったり、中国の文化や歴史などを紹介したりしました。この交流は非常に意味があると思います。なぜなら、今日の日本人はまだ中国のことについてあまり知らないようですから。日中の友好交流を上手くやっていくには、国民がお互いの国のことをよく知ることが大変大切だと思っています。

さらに、日本人が茶道を大切にしていることにも気づきました。多くの会社は、新人を採用してから本当の仕事をさせる前に、茶道を勉強させています。中国の茶道とは違い、日本の茶道は茶を点てる前日に大掃除と道具の準備をするようです。日中茶道の共通点は身を修めることだと感じました。実際に体験して、おいしく頂きましたが、正座は苦痛でした。

## (5) 帰国後の展望等

帰国後、私は引き続き外事弁公室で働くので、鳥取県で勉強したこと、体験した風俗文化などはきっと今後の日本との交流の仕事に役立てられると思います。また、鳥取県の美しい景色、親切な人のことを中国人に紹介していきたいと考えています。

最後になりましたが、この十ヶ月私の世話をしていただいた皆様に心から厚くお礼を申し上げます。大変お世話になりました。また皆様と再会できる日を楽しみにしております。どうもありがとうございました。



# **韩国江原道相互派遣研修員**

**(韩国江原道)**

## I. 研修員プロフィール



氏 名 鄭行竣 (チョンヘンジュン)  
年 齢 45 歳  
国 籍 大韓民国  
出 身 江原道 春川市  
研修分野 畜産・獣医・食の安全分野

## II. 研修機関の概要

機関名 鳥取県文化観光局交流推進課、鳥取県生活環境部衛生環境研究所、鳥取県生活環境部くらしの安心局くらしの安心推進課、鳥取県東部総合事務所生活環境局生活安全課、鳥取県東部総合事務所生活環境局環境・循環推進課、鳥取県商工労働部兼農林水産部市場開拓局市場開拓課、鳥取県商工労働部兼農林水産部市場開拓局食のみやこ推進課、鳥取県農林水産部農政課、鳥取県農林水産部倉吉家畜保健衛生所

代表者 鳥取県文化観光局交流推進課長 小牧兼太郎(～H23.6.30)、門脇誠司(H23.7.1～)  
鳥取県生活環境部衛生環境研究所長 長谷岡淳一  
鳥取県生活環境部くらしの安心局くらしの安心推進課長 小畑正一  
鳥取県東部総合事務所生活環境局生活安全課長 茗荷孝幸  
鳥取県東部総合事務所生活環境局環境・循環推進課長 佐々木順一  
鳥取県商工労働部兼農林水産部市場開拓局市場開拓課長 北村順一  
鳥取県商工労働部兼農林水産部市場開拓局食のみやこ推進課長 三木教立  
鳥取県農林水産部農政課長 伊藤友昭  
鳥取県農林水産部倉吉家畜保健衛生所長 山里比呂志

担当者 鳥取県文化観光局交流推進課 小谷章課長補佐、森田雅典副主幹、木原久美主事  
鳥取県生活環境部衛生環境研究所 坂口貴志次長、井田正己室長  
鳥取県生活環境部くらしの安心局くらしの安心推進課 朝倉学主幹  
鳥取県東部総合事務所生活環境局生活安全課 平木尚一郎課長補佐  
鳥取県東部総合事務所生活環境局環境・循環推進課 金田弘志課長補佐  
鳥取県商工労働部兼農林水産部市場開拓局市場開拓課 鈴木仁課長補佐  
鳥取県商工労働部兼農林水産部市場開拓局食のみやこ推進課 鈴木仁課長補佐  
鳥取県農林水産部農政課企画調整室 村尾和博室長、安部誠己副主幹  
鳥取県農林水産部倉吉家畜保健衛生所 井上禎文次長、上田英己室長

### Ⅲ. 研修経過

月 日	研修内容
4月5日	来日（米子空港）
4月6日	鳥取県国際交流財団のオリエンテーション
4月7日	副知事表敬
4月13日	民団鳥取県本部訪問
4月17日	鳥取砂丘の一斉清掃に参加、お花見（智頭町の桜土手）
5月13日	鳥取県庁の江原道会の歓迎会
6月9日	児童達との交流及び田植え体験（鳥取市米里小学校）
6月18日	地場産プラザ「わたたいな」開場式及び「かにっこ館」見学
6月25日	浦富海岸遊覧船体験及び鳥取砂丘
7月1日～7月8日	衛生環境研究所にて研修
7月13日	「食品衛生担当職員の業務研究発表会」参観
7月19日～7月29日	東部総合事務所生活環境局にて研修
7月23日	「境港妖怪ジャズフェスティバル」観覧
7月24日	湯梨浜町の「水郷祭」観覧
8月1日	鳥取県市場開拓局にて研修開始 (株)ローソンで新発売された「鳥取カレー弁当」の試食会に列席
8月4日～8月5日	第2回鳥取県・江原道輸出企業展示商談会に列席
8月14日	「第47回鳥取しゃんしゃん祭り」一斉踊り県庁連参加
8月31日	(株)米吾、(社)氷温協会、(地独)鳥取県産業技術センター食品開発研究所、(有)岡野農場の見学
9月6日	「鳥取地どり生産者協議会」参観、「なしっこ館」見学
9月8日	「新ご当地グルメ戦略会議」及び試食会に出席
9月10日	「わたたいな」で開催された「鳥取の梨フェア」参観
9月14日	「オレイン55」ブランド化プロジェクト会議に列席
9月23日	「とっとり花回路」観覧
10月4日～10月5日	月刊雑誌「料理通信」の「鳥取の食材」取材に同行 - 東伯畜産、ねばりっこ産地、プチトマト農園、山根酒造、らっきょう加工場
10月8日	「とっとりバーガーフェスタ」に列席
10月10日	鳥取市交響楽団定期演奏会を鑑賞（鳥取市民会館）
10月11日	平成23年度「食のみやこ鳥取県特産品コンクール表彰式」参観
10月20日	「野菜ソムリエ認定レストランのシェフによる鳥取産地視察ツアー」に同行 - 境港水産物直販センター、にんじん産地、梨農園
10月26日	第7回鳥取県・江原道環境衛生学会に列席

10月29日	食のみやこ鳥取県フェアにて、米粉食品の試食品づくり及び販売
10月30日	「全国豊かな海づくり大会」
11月4日	智頭町にある日本人の家庭でホームステイ体験
11月11日	「食のみやこ鳥取プラザ」や他県のアンテナショップを見学（東京）
11月12日	「食のみやこ鳥取 うまいものコレクション 2011」のイベントの支援（東京）
11月23日	第23回タイムフェスティバルに参加
12月5日	鳥取商高マーチングバンドの公演観覧
12月11日	第7回「話してみよう、韓国語」鳥取大会の運営を支援（米子）
12月13日～12月16日	韓国 KBS 春川放送局の鳥取県取材に同行
12月21日	文化観光局職員人権研修及び不当要求行為などに関する研修
12月26日	江原発展研究院のワーク・人材開発センター長が来県、鳥取県の雇用促進に関する視察に同行
1月5日	農林水産部試験研究機関の試験研究課題発表会を参観
1月7日	在日本大韓国民団鳥取県地方本部の新年会
1月13日	鳥インフルエンザ発生時の防疫措置に関わる研修会に参加
1月16日～1月19日	倉吉家畜保健衛生所にて研修
1月20日	鳥取大学農学部学生達むけの「現代農林事情」講義を参観
1月24日	第5回「とっとり商工こらぼ研究コンソーシアム」の会議を参観
1月26日	鳥取県庁農林水産部と鳥取大学農学部の意見交換会を参観
1月27日	平成23年度畜産技術業績発表会を参観
2月1日～3月26日	交流推進課で研修
2月8日	第17回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット実務代表者会議に列席
3月2日	研修報告会
3月9日	平成23年度 第2回日韓友好資料館企画運営委員会に列席
3月13日	NPO・ボランティア団体見学ツアーに参加：鳥の劇場等
3月27日	帰国（米子空港）

#### IV. 研修報告

##### 1. はじめに

私は江原道の獣医の公務員であり、研修分野は私の仕事と関わる畜産・獣医を希望しましたが、一昨年から全国的に広がった口蹄疫の余波で難しくなりました。しかし、むしろ様々な部署で色んなことを学ぶことができ、私にとっては良い勉強になったと思います。

交流推進課で国際交流について、生活環境部で食の安全など、食のみやこ推進課・市場開拓課での地産地消など、農政課で農業・畜産について、私が勤務していた江原道家畜衛生所と同じような業務をしている家畜保健衛生所での短期間研修までできて感謝しています。

報告書は私が研修した部署の概要や学んだこと、江原道の事情などについて記述することにします。

－ 鳥取県と江原道のあらまし

		鳥取県	江原道
面	積	3,507 平方 km	20,569 平方 km
人	口	約 59 万人	約 155 万人
世	帯	約 21 万世帯	約 65 万世帯
市・町・村	数	19 市・町・村 (4 市・14 町・1 村)	18 市・郡 (7 市・11 郡)
市・町・村	数		春川市
県庁 (道庁)	所在地	鳥取市	

\*韓国の自治体：16 (1 特別市、6 広域市、8 道、1 特別自治道)

－ 鳥取県と江原道の特産品

		鳥取県	江原道
農	産	白ねぎ、砂丘らっきょう	じゃが芋・トウモロコシ・高冷地白菜
海	産	松葉がに・はたはた	イカ・スケトウダラ
果	物	梨・スイカ・柿	桃・リンゴ・梨・ブドウ
畜	産	鳥取和牛	横城韓牛・ハイロク韓牛など
工	芸	弓浜緋・因幡和紙	翡翠・螺鈿漆器
そ	の	地酒、豆腐ちくわ等	松茸・薬草等

## 2. 部署別研修

### (1) 交流推進課

#### ① 庁内研修

- － 鳥取県の県政概要 (県の特徴、県庁の組織構成)、県の国際交流の歴史について、
- － 交流推進課の業務について (国際交流、国内交流、県に居住している外国人に対する支援を忠実にして全体住民が安心して暮らす多文化共同社会の実現を図ること)
- － 鳥取県の将来ビジョン (ひらく、つなげる、守る、楽しむ、支え合う、育む) 六つについて学びました。

鳥取県の将来ビジョン	江原道の長期発展戦略
○ひらく：地域で・県外で・国外で・新時代に向かって扉をひらく	○第3次江原道総合計画 (2008~2020) 1.暮らしやすい生活空間の造成

<p>○つなげる：様々な活動・力をつなげ、結集して、持続可能で、魅力あふれる地域を創る</p> <p>○守る：鳥取県の豊かな恵み・生活を守り、次代へつなぐ</p> <p>○楽しむ：いきいきと楽しみながら充実した生活を送る</p> <p>○支え合う：お互いを認め、尊重して、支え合う</p> <p>○育む：次代に向けて、躍動する「ひと」を育む</p>	<p>2.生産・消費促進のため社会間接資本の拡充</p> <p>3.自然環境の高付加価値化</p> <p>4.部門別産業の知識基盤化</p> <p>5.文化観光の成長先導産業化</p> <p>6.住民のくらしの質を高める</p> <p>7.幸福な福祉共同体の社会の造成</p> <p>8.安全な江原道づくり</p> <p>○江原広域経済圏発展計画（2009~2013）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先導産業の育成（医療融合・医療観光等）</li> <li>・戦略産業の育成（バイオ・医療機器・新素材）</li> <li>・発展拠点の造成</li> <li>・SOC 4 大先導プロジェクト（高速道路・鉄道）</li> <li>・文化観光の育成</li> <li>・広域経済圏の連携・協力事業（隣接自治体）</li> <li>・快適・安楽・暮らし豊かな生活共同体の実現</li> </ul> <p>○2030 江原ビジョン</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. グローバルネットワークの発展軸の構築</li> <li>2. 未来先端快適な融合・複合産業の育成</li> <li>3. 緑色・先端が融合した名品空間の造成</li> <li>4. 幸福で健康な暮らしを保障</li> <li>5. 潜在的資源の高付加価値化の実現</li> </ol>
--	---

－ 片山前知事の『地域間交流が外交を変える』を読んで、様々な努力があって、江原道との交流が始まったことを知りました。

－ 毎日、新聞・雑誌・パンフレットなどを読みながら漢字・単語など日本語の勉強をしました。

## ② 出張研修

－ 韓国 KBS 春川放送局の鳥取県取材と関連し、鳥取砂丘、若桜町、三朝温泉、白壁土蔵群、青山剛昌ふるさと館、日韓友好公園、水木しげるロード、皆生温泉、米子水鳥公園など県内の観光名所に同行しました。

○鳥取砂丘イリュージョン:4月17日の一斉掃除以来ほぼ毎月訪れている所で、行く度違い姿を見せてくれる鳥取砂丘ですが、光で飾られて幻想的な雰囲気が漂っていました。平日にもかかわらず大勢の人が尋ねていました。



○若桜町：江原道の平昌郡との友好交流地域である若桜町を訪れ、1930年代の駅舎がそのまま保存されている若桜駅の構内で展示中の蒸気機関車の試運転、転車台で機関車を回転させる体験ができました。生涯学習情報館、氷ノ山入口、伝統美あふれる町を歩きながら静かな村を満喫しました。



○三朝温泉：900年の歴史を誇る三朝温泉は鳥取の最高の温泉であり、韓国ドラマ「アテナ：戦争の女神」の撮影地としても知られている所です。昔の趣のある景観を無料で楽しめる河原温泉は三朝温泉の名所の一つ。温泉水はラドンが多く含まれていて動脈硬化症、喘息、糖尿病、皮膚病などの治療にも効果があります。



○白壁土蔵群・赤瓦：倉吉のまちの中を流れる玉川沿いに並ぶ白壁土蔵群は江戸、明治期に建てられた建物が多く、今でも当時の面影を見ることができます。韓国ドラマ「アテナ：戦争の女神」のロケ地として、韓国の観光客も増えている所であり、平日にもかかわらず大勢の客が訪れていました。



○青山剛昌ふるさと館：人口16,000名の小さい町、漫画家、青山剛昌さんのふるさとである北栄町にあります。1994年から連載する長編漫画「名探偵コナン」は韓国にもよく知られています。コナン・作家の幼いころのスケッチ・アニメに関する展示品などがあります。



○日韓友好交流公園：琴浦町にある、風の丘、日韓友好資料館・物産館を見学しました。1819年に韓国を出航した商船が嵐で難破し現在の琴浦町赤碕沖に漂着したという話を read することがあり、行って見たかった所です。韓国から友好の風を受けると約2トンの風車が風力だけで回る石風車・友情の鐘・友愛の碑など色んな見所があります。



○水木しげるロード・記念館：水木しげるロードを歩いたことはありますが、記念館に入ったのは初めてで、漫画家の水木しげるさんが戦争中に片手を失って、片手で漫画を描いたことなどを知りました。水木しげるロードに妖怪銅像ができたのは市役所のある公務員の発想で始まったこと、昨年の観光客数が人口の100倍を上回る3百8十万人だったことに感嘆しました。



## (2) 生活環境部

### ① 衛生環境研究所

#### ア. 研究所の紹介や保健衛生室での研修

－ 建物が県産材やリサイクル材などを優先して使用した建物（資源の循環）、敷地内にビオトープや在来種・地域種による植栽を施工（環境との共生）、太陽光発電や地中熱を利用した空調設備などの自然エネルギーの活用（地球環境への配慮）など建物全体が人と環境に優しい特徴のある施設となっています。

－ 1課、4室、2チームの体制で、調査研究や試験検査、環境学習の受入れ等の業務を行っています。総務課、企画調整室、保健衛生室、化学衛生室、大気・地球環境室、水環境対策チーム、リサイクルチームに分かれています。

－ また鳥取県感染症情報センターを研究所内に設置し、県内の感染症情報の取りまとめや情報発信を行っています。また、毎日、放射線量の測定や情報公開なども行っています。

－ 施設の設備の紹介、各部署の仕事について聞き、特に、循環型社会の構築、廃棄物の適正な管理、化学物質による環境汚染の防止に関する調査研究を行っているリサイクルチームの仕事や廃ガラスを原料として製造される発泡ガラス（特許取得）の研究結果を見学しました。

－ 主に、保健衛生室で研修を受け、食中毒検査、試験研究、感染症の検査について学びました。

#### イ. 第7回鳥取県・江原道環境衛生学会に列席（2011年10月26日）

○ 江原道保健環境研究院との交流で、毎年、両国で1年おきに開催します。2011年江原道で開催、今年は鳥取県で開催され、参観しました。各機関の研究発表、基調講義があり、大学生・県民が集まり、傍聴しました。

研究所の全員が玄関に並び、手を振りながら、江原道からの客を丁寧に迎え・見送りし、感動しました。



### ② 暮らしの安心推進課、東部総合事務所生活環境局生活安全課、環境・循環推進課

－ 研修の当時、ユッケなど生肉の摂取による食中毒事故が発生、社会的に問題を惹き

起こしました。鳥取県でも生レバーなど生食用肉の安全性に関する条例を検討している時期でした。特に細菌による食中毒の多い夏季なので、食品安全実務などについて学びました。

- 東部総合事務所生活環境部では食品会社の見学、食堂の従業員への衛生教育、新規食堂の営業許可、自然公園の管理、野生動物の保護、ごみの焼却施設などを見学しました。
- 業務実習で智頭町の森林浴場、山陰海岸ジオパーク、岩美町の海水浴場、山陰海岸ジオパークに行くことができ、鳥取県の素晴らしい風景を見ることが出来ました。

#### ○ 出張研修内容

- 食品衛生担当職員の業務研究発表会に列席
  - ・食肉内食中毒菌の汚染問題、食品内異物混入による苦情など
- お弁当製造工場及び健康茶・健康食品製造工場の衛生監視及び施設の見学
- 野生鳥獣保護区や県内自然公園の管理状況の調査
- 岩美町の海水浴場3ヵ所の放射線の測定
- 県東部地域の焼却施設の検査用焼却灰の採取や施設見学
- ジオパークの不法ゴミ投棄のパトロール
- 鳥取市浄水場の見学



### (3) 市場開拓局

市場開拓局では市場開拓課・食のみやこ推進課で3ヶ月間研修し、県のあちこちに行き、鳥取の優秀な食材を見学しました。

#### ア. 庁内研修

- 鳥取県の農水畜産物について詳しく学びました。
  - ・果物：梨（二十世紀梨、なつひめ、新甘泉、王秋）、すいか、柿など
  - ・野菜：白ねぎ、らっきょう、ながいも（砂丘ながいも・ねばりっこ）、トマト
  - ・畜産物：鳥取和牛オレイン55、鳥取地どりピヨ、畜産加工品
  - ・水産物：松葉ガニ、モサえび、はたはた（とろはた）、アカガレイ（子まぶり）など
  - ・お酒：日本酒・焼酎、大山Gビール

#### イ. 様々な会議列席

- 鳥取地鶏ピヨ生産者協議会
- 食のみやこ・やらいや農林水産業プロジェクト会議
- 鳥取和牛ブランドオレイン55ブランド化プロジェクト会議

－ 新ご当地グルメ戦略会議及び試食会

様々な会議に列席し、鳥取の農水産物をブランド化し、「食のみやこ鳥取県」を確立するために官民一体で努力していることを知りました。

ウ. 出張研修

－ 鳥取県西部地域食品会社などの視察

・(株)米吾：300年の歴史ある鮓の会社、鮮度を保つためにマイナス60度で急速凍結し、出荷する前に解凍する特許製法である「熟成解凍」を用いて製造

・(社)氷温協会・氷温研究所：米子市である研究所で、氷温技術の指導および技術コンサルティングをしています。氷温は氷点下の凍らない温度で食品の鮮度を保ちながら旬のうま味を引き出せる技術です。

・鳥取県産業技術センター食品開発研究所：境港にある、農水畜産物の食品加工技術、製品開発技術の研究及び指導を行っている所です。

・(有)岡野農場：境港市である農場で、大根を生産し、加工工場でおでん用大根に加工し、コンビニに納品している所です。

・(株)米吾の鯖寿司等の特許製法である「急速凍結及び熟成解凍」、氷温協会での「食品保存技術」、食品開発研究所での「マグロの副産物を用いた商品開発」、岡野農場での「大根の生産から加工まで」各社が様々な新技術開発に取り組んでいることに感動しました。

－ 「料理通信」の鳥取食材料の取材に同行

琴浦町で鳥取和牛を飼育している東伯畜産、北栄町の砂丘ながいも・粘りっこ生産地、プチトマト生産農場、網代漁港の海産物競り、伝統工法の山根酒造場、鳥取因幡農業協同組合らつきょう加工場など美味しい鳥取食材料の生産地を訪れ、産地の見学及び製造工程について説明を聴取しました。



－ 野菜ソムリエ認定レストランのシェフによる鳥取産地視察の同行（境港水産物直販センター、ニンジン産地、梨農場）

2回の「鳥取の食材取材」に同行で、産地を訪れ、直接、鳥取の食材に接することができました。野菜、果物、お酒などを作るために大変な手間がかかることを知りました。



－ 県外の行事

東京で開催された「食のみやこ鳥取、うまいものコレクション2011」のイベントの支援や「食のみやこ鳥取プラザ」や他県のアンテナショップを視察しました。

イベントで一致協力して働いていた県の職員の熱意を感じましたし、鳥取の食材の優秀さを知りました。



エ. 様々なイベントに参加

- 第3回鳥取バーガーフェスタ:10月8日、大山で開催され、県内10団体・県外28団体が出店し、全国の名物バーガーを楽しむ人々で賑わいました。

- 第31回全国豊かな海づくり大会や食のみやこ鳥取県フェアの運営の支援

・「食のみやこ鳥取県フェア」にて、米粉食品の試食品づくり及び販売などをしました。



(4) 農政課

- 農政課では鳥取の農林水産業、畜産の現況などについて学び、様々な会議に出席することができました。特に倉吉家畜保健衛生所での研修ができて色々勉強になりました。

- 様々な会議に列席し、県の農林水産政策を様々な方法で発信していることを知り、自分の仕事で習得した知識を積極的に共有していて感動しました。

ア. 庁内研修

- 鳥取県の農林水産業:鳥取県農林水産業の概要、主要農・畜・水産物について再び学びました。

- 鳥取県と江原道の畜産飼育現況

	鳥取県			江原道		
	農家	頭数	全国シェア	農家	頭数	全国シェア
肉牛	454	21,300	0.6%	12,345	217,776	7.4%
乳牛	194	10,600	0.8%	230	15,552	3.9%
豚	48	77,700	1.0%	237	246,868	3.0%
鳥	51	3,155,000	1.0%	123	4,575,000	3.1%

※ 特性:江原道は肉牛は韓牛が大部分で、広域ブランドのほか地域別のブランドがあり全国的に認められている横城韓牛など有数のブランドがあります。

鳥取県・江原道共に、飼育農家数は減少しているが、1農家当り飼育数は増加し続けている傾向であります。

イ. 様々な会議への列席

- 農林水産部試験研究機関の試験研究課題発表会

・農業試験場、園芸試験場、中小家畜試験場、林業試験場、水産試験場、栽培漁業センターの試験研究課題発表

- 鳥インフルエンザに関わる研修会:鳥インフルエンザの発生に備え、動員支援者の確保、発生農場での防疫作業、消毒ポイントの消毒作業、防疫服の着・脱など初動対応などについて研修

- 県庁農林水産部と鳥取大学農学部の見聞交換会
- 畜産技術業績発表会：家畜保健衛生所3ヵ所、畜産試験場、中小家畜試験場の25主題の発表及び特別講義
- 第5回「とっとり農商工こらぼ研究コンソーシアム」会議
- 鳥取大学農学部講義「現代農林事情」の聴講：食のみやこ鳥取県の推進について

#### ウ. 倉吉家畜保健衛生所での研修

- 研修を受けた倉吉家畜保健衛生所には唯一の病性鑑定室があり、県下の全ての病理検査を行っています。病性鑑定に要する器材・人力が備わっており、担当者を国の機関で長期間の研修をさせて実力の向上を図り、細菌・ウイルス・病理などの分野別で専門化しています。特に高病因性鳥インフルエンザの迅速な検査のため常時検査体系を備えています。
- 鳥取県では獣医の公務員が県庁の生活環境部と農林水産部に分かれており、業務が異なりますが、韓国では家畜伝染病の防疫・食肉を含んだ畜産物の検査を一つの機関ですべて行っていて、様々な仕事を接することができます。両方、長所と短所があると思います。
- 短期間の研修でしたが、久しぶりに色んな試験を行い、同じ獣医の公務員と仕事の内容について話し合うことができ、本当によかったです。
- 広くて、よく整頓された試験室も良かったし、新人を国の機関で長期研修させることを聞いて、良い制度だと思いました。

#### - 倉吉家畜保健衛生所での研修内容

病理組織検査・免疫組織化学染色・動物死体の剖検の見学・鳥インフルエンザ検査に使用する検体の処理・鳥の肝壊死の原因究明（遺伝子検査）・鳥アデノウイルスの血清型別遺伝子検査などを行いました。



#### ※ 鳥取県と江原道の獣医の公務員

- 鳥取県では獣医の仕事を生活環境部と農林水産部に分けていて、生活環境部のくらしの安心推進課・衛生環境研究所・食肉衛生検査所、農林水産部の畜産課、3箇所の家畜保健衛生所及び総合事務所で勤務しています。
- 江原道の場合は江原道庁農林水産局の畜産課、5ヵ所の家畜衛生試験所で勤務し、動物疾病の防疫、畜産物の検査を行っています。長所と短所がありますが、韓国の場合は同じ職場で様々な仕事を接する機会が与えられるが、自分の適性に合わないケースもあり、鳥取の場合は自分の仕事に専門化ができるが、他分野の部署への移動が難しいと思います。

#### (5) その他

##### ① 鳥取しゃんしゃん祭りの傘踊りに参加

- 毎年、鳥取の伝統祭りである、しゃんしゃん祭りに鳥取県庁の有志で参加している

と聞きました。元々運動神経が鈍いし、練習の期間中、韓国から家族が来県し、練習日の半分ぐらいしか参加できなくて、心配だったのです。しかし、前日、同じマンションに住んでいる人たちが集まって、マンションの前で練習をしました。当日、最初はうまくできなかったのですが、前の人動作を見ながら何回も繰り返して、踊れば踊るほど慣れて、上達したと思ったとたん、一斉踊りが終わってしまい、少し、心残りがありますが、暑い夏の夜、生まれて初めて着物を着て、下駄を履いて、日本の祭り文化に直接参加し、良い体験だったと思います。

## ② 国際交流行事

### □ 小学生達との交流や田植え

－ 交流推進課の国際交流員と共に鳥取市の米里小学校で3年生との交流、遊び、給食、校内の田んぼで田植えをしました。

－ 恥ずかしいことですが、田植えは生まれて初めての体験でした。

－ 小学生ながらも責任感と協同意識が強いと思いました。



### □ 第23回タイムフェスティバル参加、第7回「話してみよう、韓国語」鳥取大会の運営を支援

－ 鳥取県には約4,100人の外国人が住んでいると聞きました。11月23日、タイムフェスティバルがとりぎん文化会館で開催され、色々な国の人々が集まって、自国の文化の紹介や料理を分かち合いながら、交流をしていました。

特に終わりに二つの大きい手の模型、「We are」と「ともだち」を取り合ったことが印象に残っています。

－ 12月11日、米子コンベンションセンターで開催された、「話してみよう、韓国語」大会の運営を支援しながら、韓国語を学んでいる参加者達の寸劇を見て、楽しかったです。真剣に情熱を傾けている参加者を見て、私も日本語の勉強に更に精進しようと思いました。



### □ 中国・ブラジルからの研修員、県費留学生との交流

－ 同じマンションに居住する中国・ブラジルからの研修員、県費留学生との交流で、週末に自転車で、イオン鳥取北、かろいちなどに行ったり、鳥取砂丘、浦富海岸、鳥取花回廊にも行きました。

### ③ 様々な文化芸術公演の観覧

- 兵士の物語：竹内詩織（県出身のバイオリニスト）
- 白兔ウインドーハーモニー吹奏楽演奏会
- 森岡柳蔵の企画展（県出身の画家）
- 境港妖怪ジャズフェスティバル
- 館野泉ピアノコンサート
- 鳥取市交響楽団定期演奏会
- 演劇「八賢伝」：倉吉未来中心
- 鷲峰賛歌Ⅱ：鳥の劇場

・韓国では出来なかった美術展や演奏会などの鑑賞ができました。鳥取市では、とりぎん文化会館、鳥取市民会館、鳥取市文化センター、鳥の劇場があり、公演に大勢の観衆が集まって、「ARTS for Everyone」ということを感じました。

・一人で行ったこともあるし、遠い所には、皆さんのおかげで一緒にいき、様々なコンサートに行くことができ、感謝しています。

### ④ 関西・中国・四国・九州地方の旅行

- 家族が来たとき、島根県・大阪府・奈良県の旅行、江原道に派遣されたことがある方たちのおかげで京都の景勝地、香川県のうどん・愛媛県の道後温泉・松山城、広島県の尾道などに行くことができ、感謝しています。

- 一人でも県内のあちこちを、岡山県の後楽園・岡山城・倉敷美観地区を行ったことがありますし、新規LCCピーチに乗って、九州の福岡県・大分県・長崎県を旅行しました。

- 江原道会の方の智頭町にある家庭でホームステイを体験し、子供たちとの会話・遊びをしたこともあり、楽しかったです。交流推進課の職員の八頭町にある実家でもホームステイし、厚くもてなしを受けました。2人とご家族に誠に感謝しています。

## V. おわりに

- 本当に光陰矢のごとで、あっという間に一年が過ぎました。色んな部署で研修を受けて、多くのことを学び、感じました。

- あえて、一言でいえば、かけがえのない体験でした。色々生まれて初めての体験があったし、公務員の姿勢を考えることもできました。また、家族の大切さも感じました。

- この一年を思い浮かべると心残りがありますが、色んな体験があったし、数え切れない方々に言葉ではできないぐらいお世話になり、本当に感謝しております。いただいたばかりで、申し訳ありませんが、帰ったら、鳥取を紹介することで一役買うようにしようと思っけてします。

- 鳥取は一生、忘れられない所だと思います。鳥取砂丘を始め、美しい自然環境が、美味しい食べ物が、親切な人々が必ず思い浮かぶと思います。

- 最後に、家族が来たとき、近畿地方の繁華街の中で妻が言った言葉で終わります。「ここより鳥取の方がもっと良いと思う。」

# 県費留学生

(ブラジル)

## 1 研修員プロフィール



氏 名 カチア エミ タダ  
年 齢 26歳  
国 籍 ブラジル  
出 身 サンパウロ州カンピーナス市  
研究分野 化学

## 2 研究機関の概要

機関名 鳥取大学農学部生物資源環境学科環境土壌学分野  
指導者 山本 定博 教授

## 3 研修経過

月／日	研修内容
4月20日	来日（成田空港）
4月21日	来県（鳥取空港）
4月22日	鳥取大学へ挨拶
4月25日	副知事・議長表敬
5月11日	着物着付け体験
5月14日	西尾邑次さんを囲む会に参加
6月～	鳥取大学のサークルで女子サッカーの練習を開始
6月14日	しゃんしゃん傘踊りの練習を開始
6月16日	鳥取県国際交流財団主催歓迎会に参加
6月24日	本橋会長（ブラジル鳥取県人会）来県歓迎会に出席
7月 3日	研究室の友達と兵庫県へ旅行
7月10日	親戚の住む南部町へ、初めて会った
7月16日	清水研修員を訪ねて米子へ旅行
7月27日	研究の中間発表
7月31日	研究室の友達と海でバーベキュー
8月 6日	鳥取ブラジル友好協会主催の歓迎会に出席 第47回鳥取しゃんしゃん祭りオープニングパレードでブラジル連として参加
8月13日	ブラジル料理作り
8月14日	第47回鳥取しゃんしゃん祭り、一斉踊りに鳥取大学インターナショナル連として参加

8月15日	浴衣を着て鳥取花火大会を見学
9月10日	鳥取ガイナレの試合を観戦（鳥取市）
9月14日	実験のため蒜山へ
9月23～ 28日	とっとり花回廊など鳥取県西部を観光
10月9～ 10日	研究室の友達と鳥取大学風紋祭でブラジル料理のお店を出す
10月12日	「子どものための異文化理解体験講座」講師としてブラジルの文化を紹介（岩美町立岩美西小学校）
10月21日	研究の中間発表
10月22日	鳥取ブラジル友好協会主催中堅リーダー歓迎会に参加
10月29～ 30日	鳥取ブラジル交流団体連絡協議会によるコーヒー販売を手伝う（食のみやこ鳥取県フェスタ）
11月 2～ 3日	研究室の友達と奈良へ旅行
11月4日	「子どものための異文化理解体験講座」講師としてブラジルの文化を紹介（鳥取大学附属小学校）
11月12日	研究室のみんなとソフトボール大会に参加
12月 8日 12日	「子どものための異文化理解体験講座」講師としてブラジルの文化を紹介（中ノ郷小学校）
12月9日	「子どものための異文化理解体験講座」講師としてブラジルの文化を紹介（津ノ井小学校）
12月20日	「子どものための異文化理解体験講座」講師としてブラジルの文化を紹介（神戸小学校）
12月21日 ～1月 3日	平成23年度海外技術研修員・留学生のクリスマス交流会に参加（栃木県日光市湯元温泉）
1月23日	第17回マリンガ市青年海外派遣団歓迎会に出席
3月2日	平成23年度鳥取県海外研修員等研修修了式及び送別会
3月6日	副知事・議長表敬
3月10日	帰国（成田空港）

#### 4 研修報告

##### (1) はじめに

私は子供のときから鳥取のことをよく聞いていました。鳥取県南部町は私のお父さんの生まれたところですよ。お母さんのお父さんも米子出身です。鳥取はどんなところだろう、鳥取へ行ってみたい、親戚に会いたいという気持ちがありました。今留学生として鳥取へ来ることができて、とてもうれしいです。

(2) 大学での研究

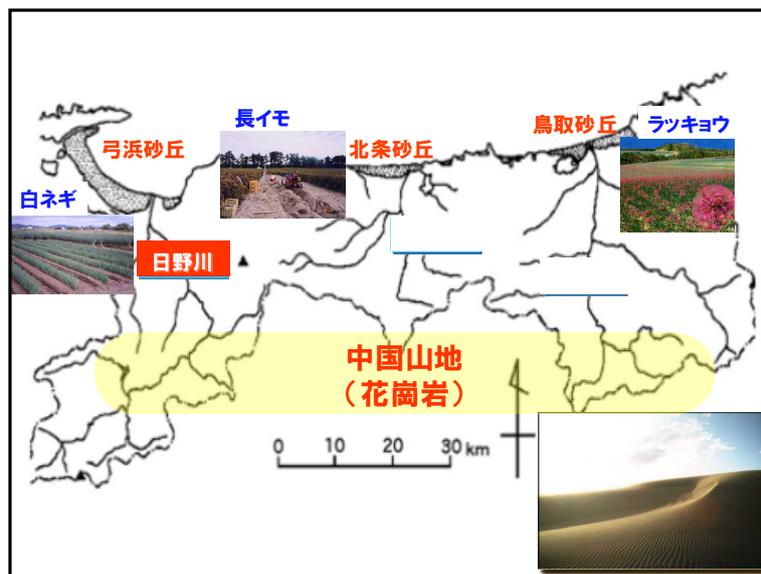
研修機関：鳥取大学農学部 生物資源環境学科 環境土壌学分野

研修期間：平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月

農耕地における地下水の水質変動：鳥取市福部町，鳥取大学フィールドサイエンスセンターにおける事例

背景

鳥取県には砂丘があります。鳥取県の海岸砂丘地帯の砂丘畑は、約 2,200ha（2001 年）あり，鳥取を代表する野菜の産地になっています。砂丘には白ネギと長いもとラッキョウが植えてあります。



鳥取の特産品ラッキョウ：鳥取砂丘の東側には、100ヘクタールを超える面積のラッキョウ畑が広がっています。ラッキョウは、鳥取県の有名なものです。ラッキョウは、地表面を守る働きがあるので、冬は、砂丘の砂をおさえています。

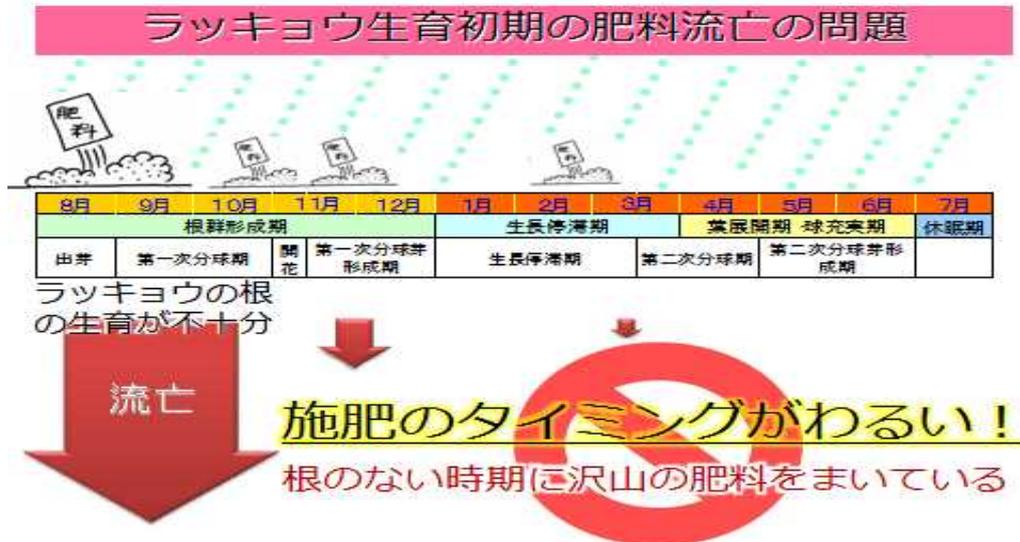
しかし、砂丘地は肥料が流れやすいという問題があります。施肥量が多くなると地下水汚染の進行もあります。

ラッキョウのせいちょうについて話します。夏から秋までラッキョウはせいちょうして、花がさきます。冬をこえて春にしゅうかくします。

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
根群形成期					生長停滞期			葉展開期・球充実期			休眠期
出芽	第一次分球期	開花	第一次分球芽形成期		生長停滞期		第二次分球期	第二次分球芽形成期			

ラッキョウ生育初期の肥料流亡の問題。

ラッキョウの根っこが小さい間に肥料を入れすぎています。ラッキョウの生長の時期と肥料幕時期のタイミングが合わないから、肥料は地下水にどんどん流れ、地下水は汚染しています。



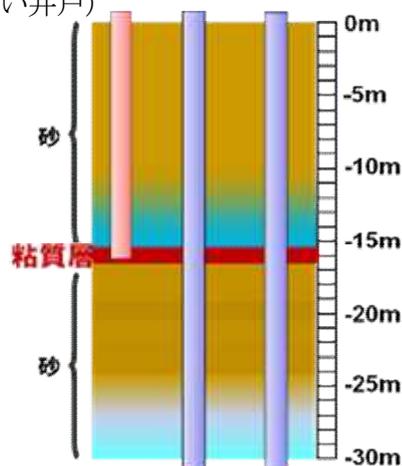
福部町のラッキョウ畑周辺の地下水。地下水に流れている肥料の中では一番心配な肥料成分は硝酸態窒素です。硝酸態窒素の環境基準10ppmです。いくつかの井戸水は硝酸態窒素濃度が環境基準を超えています。基準を超えると、飲用不可で、メトヘモグロビン血症になり、乳幼児にとっては命にかかわります。5年前に福部で硝酸態窒素が超えていることがわかりました。

## 目的

くわしいデータを得るために、地下水のモニタリングを比較しました。

鳥取大学フィールドサイエンスセンターでもモニタリングしましたが、大切なのは福部の3か所を比べることでした。

モニタリングした井戸（浅い井戸と深い井戸）



浅い井戸は火山灰層の上に溜まる水を採水、深い井戸は火山灰層の後にありますから肥料があまり流れてこないです。

サンプリング：5ヶ所で毎週、3ヶ所ラッキョウ畑、2ヶ所はフィールドサイエンスセンターです。



### 地下水質の分析項目

- ・陽イオン(カチオン)  $K^+$ ,  $Ca^{2+}$ ,  $Mg^{2+}$ ,  $Na^+$ ,  $NH_4^+$
- ・陰イオン(アニオン)  $NO_3^-$ ,  $NO_2^-$ ,  $PO_4^{3-}$ ,  $HPO_4^{2-}$ ,  $SO_4^{2-}$ ,  $Cl^-$ ,  $SiO_3^{2-}$
- ・重金属類  $Al^{3+}$ ,  $Cd^{2+}$ ,  $Cr^{3+}$ ,  $Cu^{2+}$ ,  $Fe^{2+}$ ,  $Mn^{2+}$ ,  $Mo^{2+}$ ,  $Ni^+$ ,  $Pb^{2+}$ ,  $Zn^{2+}$

これらの機械を使いました

**カチオン**



**アニオン**



**リン&アンモニア**



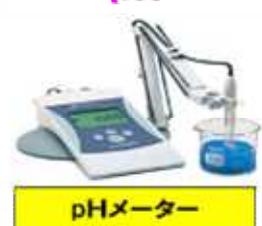
**重金属**



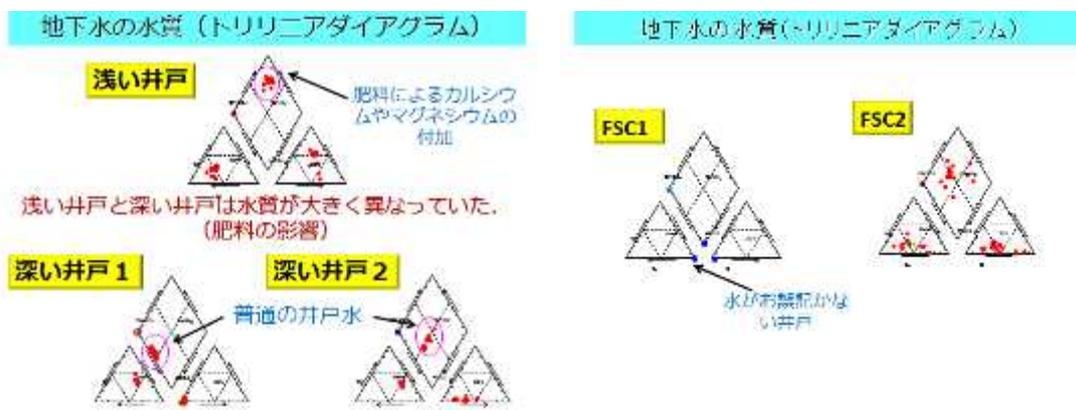
**EC**



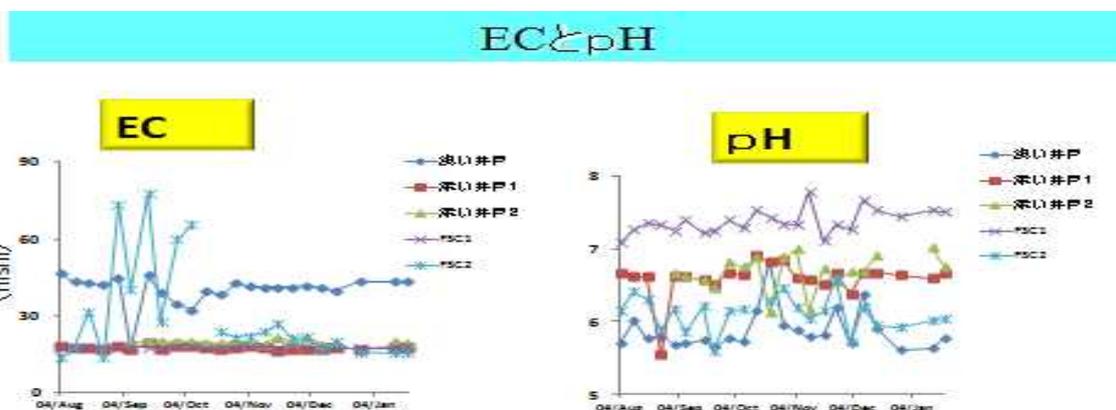
**pH**



## 結果

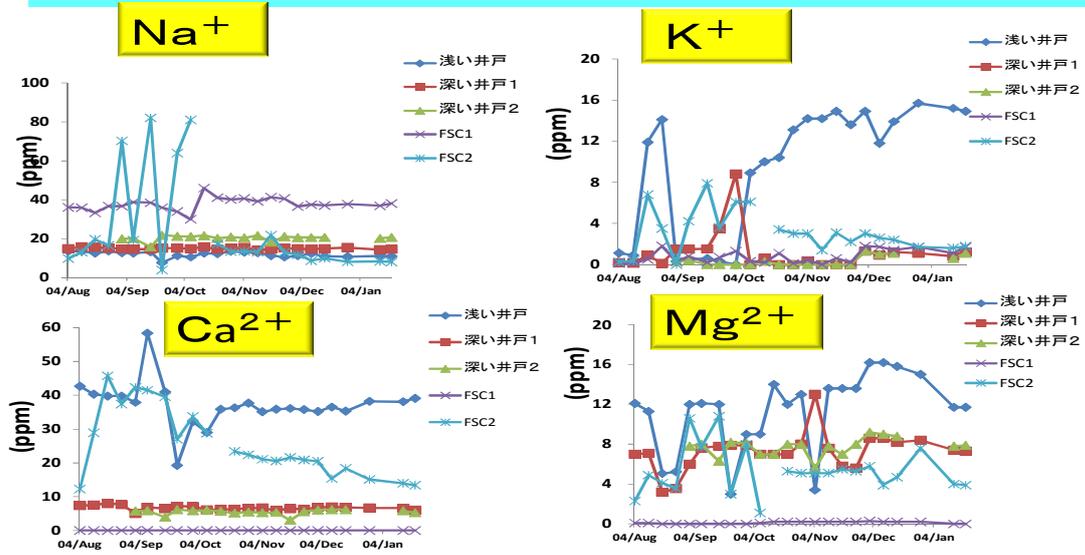


この図をみると地下水の水質がわかります。浅い井戸は肥料がよく流れている地下水です。二つの深い井戸は日本の普通の井戸水です。フィールドサイエンスセンターの地下水は動きがない井戸水です。



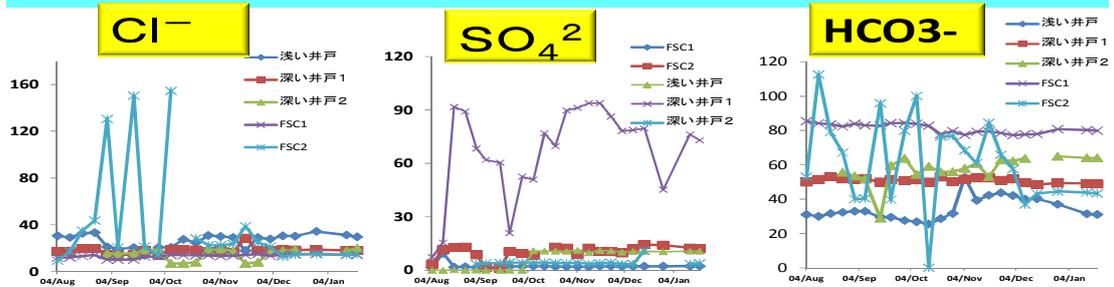
グラフに5ヶ所のEC と pH のあたいを乗せています。

## カチオン

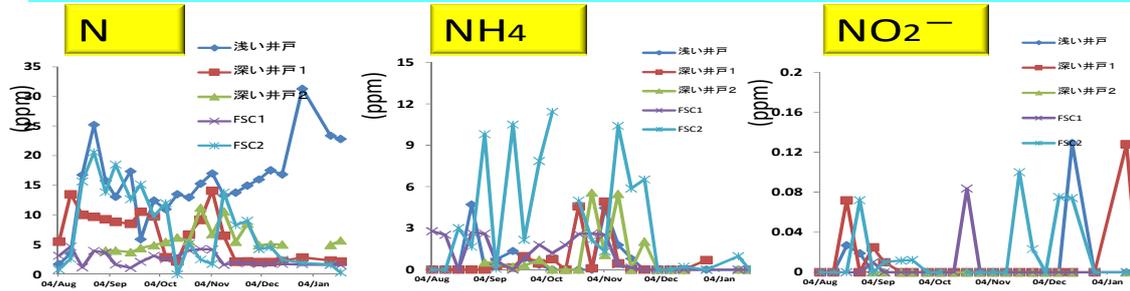


この図には5ヶ所のカチオン (K<sup>+</sup>, Ca<sup>2+</sup>, Mg<sup>2+</sup>, Na<sup>+</sup>) 濃度 (ppm) をのせています。

## イオン



## N



重金属ののうどをのせています。

## 重金属浅い井戸

mgL

Date	Al	Cd	Cr	Cu	Fe	Mn	Mo	Ni	Pb	Si	Zn
04/ago	0.22	0.001	0.001	0.009	0.08	0.154	0.013	0.002	0.05	13.4	0.13
11/ago	0.16	0.001	0.001	0.007	0.03	0.010	0.011	0.004	0.01	12.6	0.01
18/ago	0.15	0.001	0.002	0.008	0.05	0.106	0.015	0.002	0.03	12.3	0.05
25/ago	0.16	0.001	0.001	0.006	0.01	0.014	0.011	0.001	0.01	13.7	Tr.
01/set	0.06	0.001	0.001	0.009	0.02	0.012	0.014	0.002	0.02	14.2	0.01
07/set	0.22	0.001	0.001	0.011	0.04	Tr.	Tr.	0.003	0.01	10.9	0.02
16/set	0.05	0.001	0.001	0.010	0.04	0.055	0.010	0.001	0.02	12.4	0.02
22/set	0.13	0.001	0.000	0.012	0.11	1.329	0.003	0.002	0.04	4.5	0.08
30/set	0.09	0.001	0.001	0.004	0.05	1.304	0.004	0.002	0.02	11.0	0.05
07/out	0.27	0.001	0.001	0.009	0.20	1.374	0.003	0.003	0.05	10.2	0.10
14/out	0.18	0.001	0.001	0.005	0.11	1.343	0.004	0.003	0.03	13.0	0.05
21/out	0.40	0.002	0.001	0.013	0.36	1.536	0.002	0.005	0.23	13.4	0.16
28/out	0.06	0.001	0.001	0.002	0.01	1.198	0.003	0.003	0.02	15.5	0.02
04/nov	0.03	0.001	0.00	0.01	Tr.	1.19	0.001	0.004	0.01	16.1	0.01
11/nov	0.08	0.001	0.00	0.02	0.00	1.24	0.001	0.003	0.01	16.4	0.00
18/nov	0.14	0.002	0.00	0.02	0.03	1.29	0.003	0.006	0.02	17.3	0.00
25/nov	0.15	0.002	0.00	0.01	0.03	1.29	0.004	0.004	0.02	17.7	0.03
02/dez	0.22	0.001	0.00	0.03	0.17	0.79	0.000	0.003	0.01	17.9	0.01
09/dez	0.10	0.001	0.00	0.01	0.08	1.27	0.001	0.003	0.01	17.5	0.00
16/dez	0.09	0.001	0.00	0.01	0.07	1.28	0.008	0.009	0.01	17.8	0.00
28/dez	0.06	0.001	0.00	0.00	0.00	1.22	0.002	0.003	0.01	14.8	0.00
14/dez	0.13	0.001	0.00	0.00	Tr.	1.19	0.001	0.003	0.01	14.7	0.00
20/dez	0.05	0.001	0.00	0.00	Tr.	1.21	0.002	0.004	0.02	14.8	0.01

## 重金属深い井戸1

mgL

Date	Al	Cd	Cr	Cu	Fe	Mn	Mo	Ni	Pb	Si	Zn
04/ago	0,17	0,001	0,00	0,003	0,017	Tr.	Tr.	0,001	0,01	7,9	0,05
11/ago	0,09	0,000	0,00	0,004	0,020	0,004	Tr.	0,002	0,08	7,7	0,07
18/ago	0,07	0,000	Tr.	0,003	0,022	0,004	Tr.	0,001	0,06	7,8	0,02
25/ago	0,15	0,000	0,00	0,009	0,039	Tr.	Tr.	0,001	0,03	7,8	Tr.
01/set	0,19	0,001	0,00	0,004	0,026	0,004	Tr.	0,002	0,12	7,7	0,01
07/set	0,14	0,000	0,00	0,006	0,040	0,003	Tr.	0,001	0,02	7,6	0,02
16/set	0,11	0,001	0,00	0,008	0,021	Tr.	Tr.	0,003	0,01	7,7	0,01
22/set	0,09	0,001	Tr.	0,005	0,05	0,743	0,005	0,001	0,00	8,6	0,02
30/set	0,08	0,001	0,00	0,003	0,08	0,785	0,002	0,002	0,02	9,1	0,02
07/out	0,06	0,001	Tr.	0,000	0,02	0,744	0,003	0,001	0,00	8,5	0,02
14/out	0,18	0,001	0,00	0,007	0,10	0,763	0,001	0,003	0,01	9,0	0,02
21/out	0,08	0,001	0,00	0,001	0,03	0,786	0,002	0,003	0,14	9,1	0,03
28/out	0,09	0,001	Tr.	0,007	0,02	0,773	0,002	0,002	0,03	9,0	0,02
04/nov	0,06	0,001	0,00	0,01	Tr.	0,75	0,000	0,00	0,01	8,7	0,01
11/nov	0,06	0,001	0,00	0,00	0,00	0,72	0,001	0,00	0,01	8,6	0,01
18/nov	0,05	0,001	0,00	0,01	0,01	0,76	0,001	0,00	0,02	9,2	0,01
25/nov	0,09	0,001	0,00	0,00	0,04	0,75	0,001	0,00	0,01	9,0	0,01
02/dez	0,09	0,001	0,00	0,00	0,01	1,28	0,001	0,00	0,02	9,5	0,00
09/dez	0,09	0,001	0,00	0,00	0,02	0,72	0,001	0,00	0,01	8,8	0,00
16/dez	0,06	0,001	0,00	0,00	0,02	0,73	0,001	0,00	0,02	8,6	0,00
28/dez	0,09	0,001	0,00	0,00	Tr.	0,72	0,000	0,00	0,02	8,8	0,00
14/dez	0,13	0,001	0,00	0,00	0,02	0,74	0,001	0,00	0,01	9,1	0,00
20/dez	0,02	0,001	0,00	0,00	Tr.	0,72	0,001	0,00	0,02	8,8	0,00

## 重金属深い井戸2

mgL

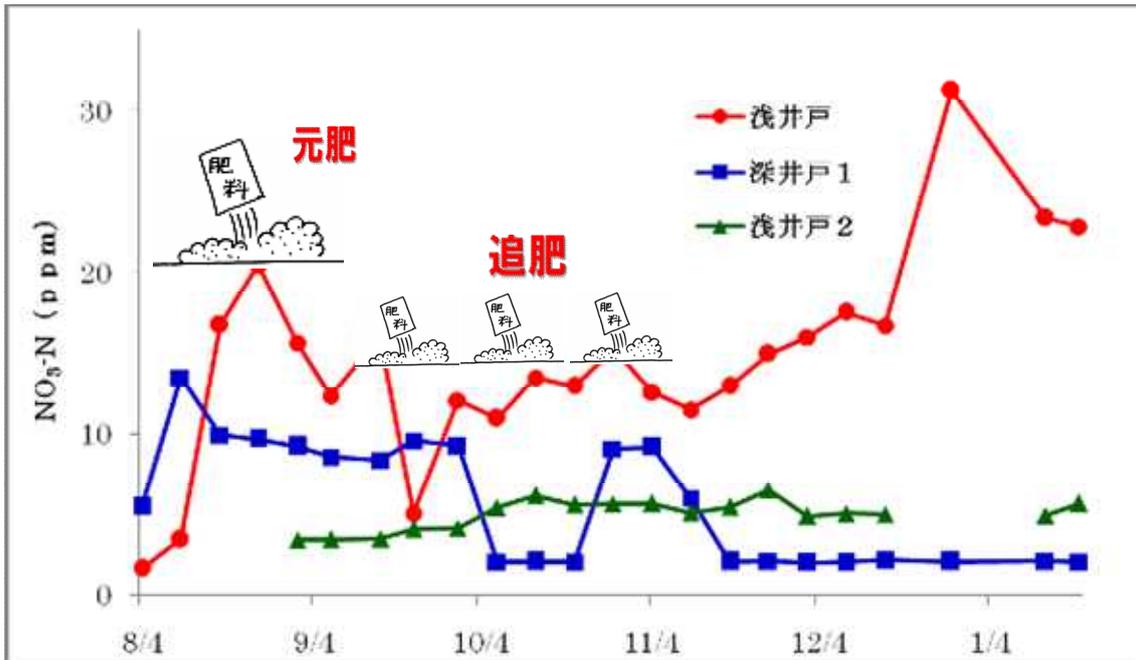
Date	Al	Cd	Cr	Cu	Fe	Mn	Mo	Ni	Pb	Si	Zn
01/set	0,05	0,001	0,001	0,007	0,12	Tr.	Tr.	0,004	0,01	11,0	Tr.
07/set	0,11	0,001	0,002	0,006	0,03	0,063	0,015	0,002	0,02	13,2	0,05
16/set	0,09	0,001	0,00	0,01	0,06	0,76	0,001	0,00	0,00	12,7	0,01
22/set	0,15	0,001	0,010	0,013	0,43	0,796	0,002	0,007	0,00	12,1	0,04
30/set	0,06	0,001	0,009	0,012	0,35	0,803	0,001	0,007	0,01	12,2	0,05
07/out	0,05	0,001	0,005	0,019	0,68	0,802	0,001	0,007	0,01	11,5	0,08
14/out	0,11	0,001	0,003	0,059	0,10	0,732	0,004	0,013	0,00	11,2	0,66
21/out	0,13	0,002	0,006	0,024	2,07	0,812	0,002	0,008	0,01	12,5	0,06
28/out	0,10	0,001	0,001	0,011	0,06	0,778	0,002	0,008	0,01	11,7	0,05
04/nov	0,11	0,001	0,00	0,01	0,08	0,76	0,001	0,01	0,01	12,3	0,03
11/nov	0,08	0,001	0,01	0,01	0,82	0,76	0,000	0,01	0,01	11,5	0,07
18/nov	0,09	0,002	0,01	0,00	1,63	0,79	0,001	0,01	0,01	11,6	0,08
25/nov	0,09	0,001	0,00	0,00	0,07	0,74	0,001	0,01	0,01	12,3	0,03
02/dez	0,11	0,001	0,00	0,00	1,69	0,77	Tr.	0,01	0,01	11,1	0,10
09/dez	0,09	0,001	0,00	0,00	0,25	0,76	0,000	0,01	0,00	10,9	0,11
16/dez	0,08	0,001	0,00	0,00	0,89	0,80	0,001	0,00	0,01	11,3	0,12
28/dez											
14/dez	0,06	0,001	0,00	0,01	0,23	0,77	0,000	0,01	0,01	10,1	0,13
20/dez	0,02	0,001	0,00	0,01	0,37	0,74	0,001	0,01	0,01	12,0	0,10

## 重金属FSC1

Date	Al	Cd	Cr	Cu	Fe	Mn	Mo	Ni	Pb	Si	Zn
04/ago	0,25	0,000	0,000	0,01	0,05	Tr.	Tr.	0,000	0,02	9,4	0,02
11/ago	0,14	0,000	0,000	0,00	0,06	0,01	Tr.	0,001	0,03	9,5	0,02
18/ago	0,25	0,000	0,001	0,00	0,11	0,01	Tr.	0,001	0,02	9,5	Tr.
25/ago	0,59	0,001	0,001	0,01	0,49	0,03	Tr.	0,003	0,05	9,6	0,10
01/set	0,14	0,001	Tr.	Tr.	0,03	Tr.	Tr.	0,001	0,01	1,3	0,01
07/set	0,51	0,001	0,001	0,01	0,29	0,06	Tr.	0,001	0,04	9,4	0,02
16/set	0,20	0,000	0,002	0,02	0,20	0,01	Tr.	0,002	0,03	9,1	0,02
22/set	0,28	0,001	0,000	0,00	0,13	0,03	0,005	0,001	0,00	10,2	0,02
30/set	0,16	0,001	Tr.	0,00	0,06	0,03	0,001	0,001	0,01	10,2	0,02
07/out	0,19	0,000	0,000	0,00	0,07	0,03	0,001	0,001	0,00	10,1	0,02
14/out	0,22	0,001	0,001	0,00	0,16	0,04	0,002	0,001	0,01	10,1	0,02
21/out	0,11	0,001	Tr.	0,00	0,03	0,04	0,001	0,003	0,01	11,0	0,05
28/out	0,10	0,001	0,000	0,01	0,01	0,03	0,002	0,002	0,00	9,9	0,03
04/nov	0,09	0,000	0,000	0,00	Tr.	0,03	0,008	0,002	0,00	10,3	0,03
11/nov	0,17	0,001	0,000	0,00	0,02	0,03	0,001	0,003	0,00	10,4	0,03
18/nov	0,16	0,001	0,000	0,00	0,06	0,04	0,000	0,003	0,01	10,6	0,04
25/nov	0,10	0,001	0,000	0,01	0,15	0,04	0,001	0,004	0,01	10,1	0,04
02/dez	0,15	0,001	0,000	0,02	0,05	0,04	0,001	0,002	0,01	10,5	0,04
09/dez	0,09	0,001	0,000	0,01	0,00	0,03	0,000	0,003	0,01	10,2	0,03
16/dez	0,18	0,001	0,000	0,00	0,03	0,03	0,000	0,002	0,01	10,1	0,03
28/dez	0,13	Tr.	0,00	0,00	0,52	0,37	Tr.	0,004	Tr.	4,8	0,00
14/dez	0,09	0,001	0,000	0,01	0,00	0,03	0,001	0,002	0,01	9,9	0,02
20/dez	0,10	0,001	0,000	0,01	0,00	0,02	0,001	0,002	0,01	9,9	0,02

## 重金属FSC2

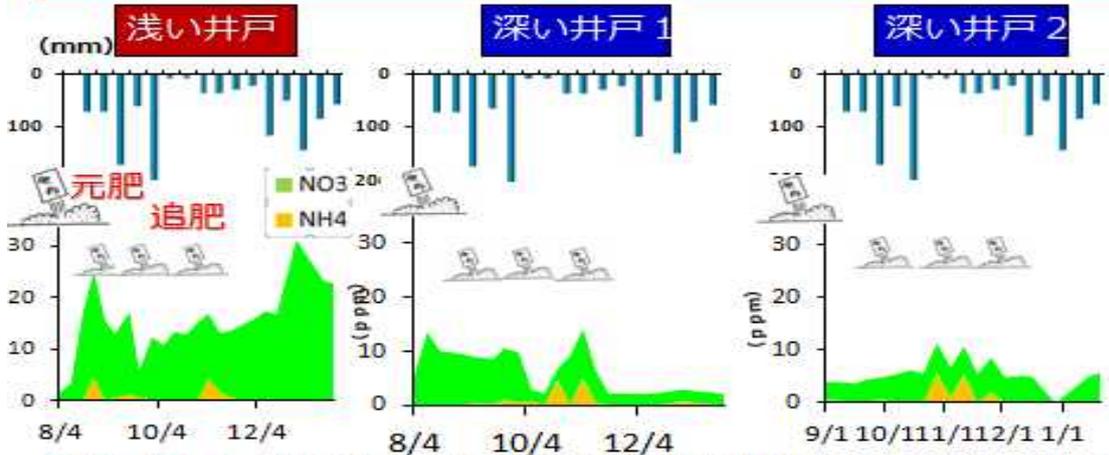
Date	Al	Cd	Cr	Cu	Fe	Mn	Mo	Ni	Pb	Si	Zn
04/ago	0,22	0,001	0,001	0,009	0,08	0,154	0,013	0,002	0,05	13,4	0,13
11/ago	0,18	0,001	0,001	0,007	0,03	0,010	0,011	0,004	0,01	12,6	0,01
18/ago	0,15	0,001	0,002	0,008	0,05	0,106	0,015	0,002	0,03	12,3	0,05
25/ago	0,16	0,001	0,001	0,006	0,01	0,014	0,011	0,001	0,01	13,7	Tr.
01/set	0,06	0,001	0,001	0,009	0,02	0,012	0,014	0,002	0,02	14,2	0,01
07/set	0,22	0,001	0,001	0,011	0,04	Tr.	Tr.	0,003	0,01	10,9	0,02
16/set	0,05	0,001	0,001	0,010	0,04	0,055	0,010	0,001	0,02	12,4	0,02
22/set	0,13	0,001	0,000	0,012	0,11	1,329	0,003	0,002	0,04	4,5	0,08
30/set	0,09	0,001	0,001	0,004	0,05	1,304	0,004	0,002	0,02	11,0	0,05
07/out	0,27	0,001	0,001	0,009	0,20	1,374	0,003	0,003	0,05	10,2	0,10
14/out	0,18	0,001	0,001	0,005	0,11	1,343	0,004	0,003	0,03	13,0	0,05
21/out	0,40	0,002	0,001	0,013	0,36	1,536	0,002	0,005	0,23	13,4	0,16
28/out	0,06	0,001	0,001	0,002	0,01	1,198	0,003	0,003	0,02	15,5	0,02
04/nov	0,03	0,001	0,000	0,01	Tr.	1,19	0,001	0,004	0,01	16,1	0,01
11/nov	0,08	0,001	0,000	0,02	0,00	1,24	0,001	0,003	0,01	16,4	0,00
18/nov	0,14	0,002	0,000	0,02	0,03	1,29	0,003	0,006	0,02	17,3	0,00
25/nov	0,15	0,002	0,000	0,01	0,03	1,29	0,004	0,004	0,02	17,7	0,03
02/dez	0,22	0,001	0,000	0,03	0,17	0,79	0,000	0,003	0,01	17,9	0,01
09/dez	0,10	0,001	0,000	0,01	0,08	1,27	0,001	0,003	0,01	17,5	0,00
16/dez	0,09	0,001	0,000	0,01	0,07	1,28	0,008	0,009	0,01	17,9	0,00
28/dez	0,06	0,001	0,000	0,00	0,00	1,22	0,002	0,003	0,01	14,8	0,00
14/dez	0,13	0,001	0,000	0,00	Tr.	1,19	0,001	0,003	0,01	14,7	0,00
20/dez	0,05	0,001	0,000	0,00	Tr.	1,21	0,002	0,004	0,02	14,8	0,01



**根の生長が不十分**

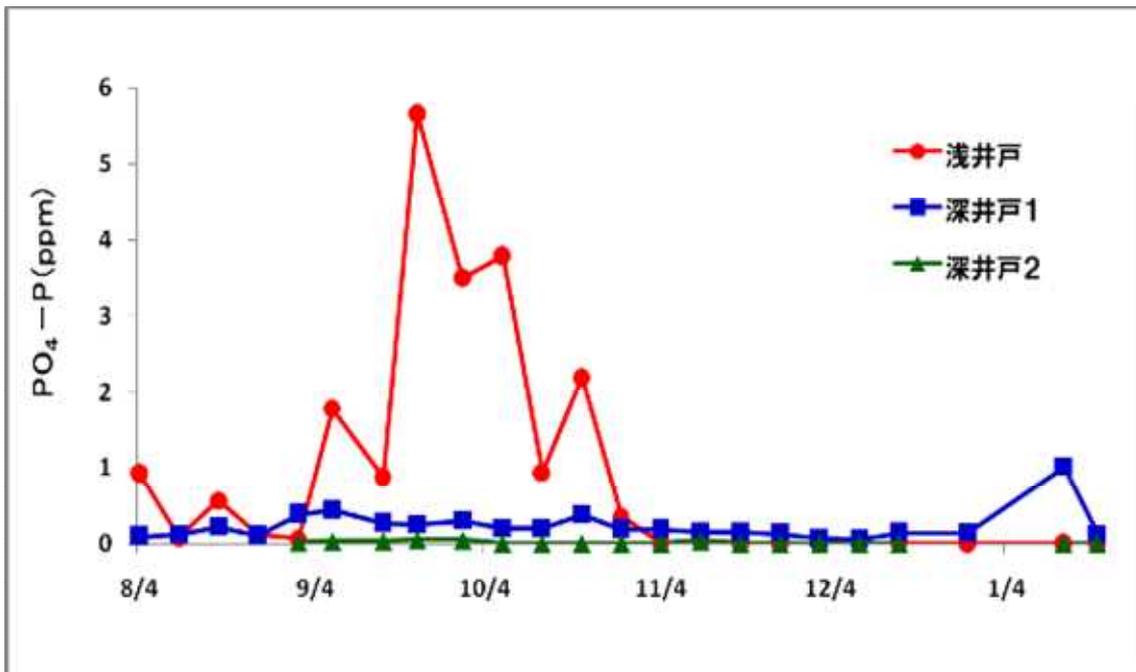
この図を見ると、地下水の硝酸態窒素の変化がわかります。  
浅い井戸は硝酸濃度が高く、環境基準値を大きく超えていました。

**地下水の窒素濃度と降水量との関係**

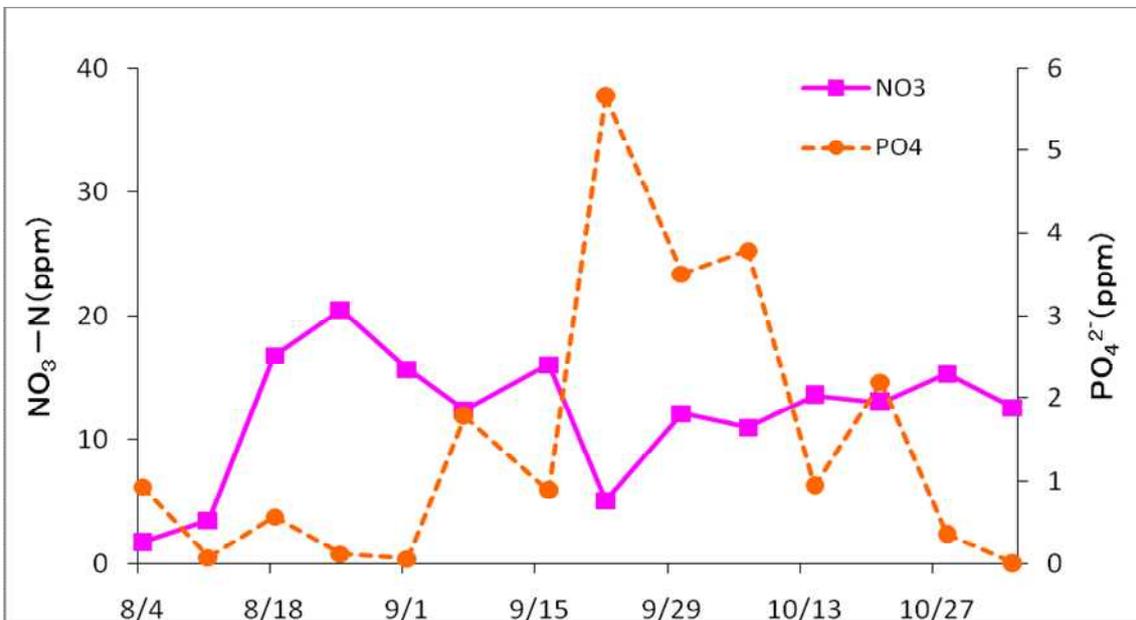


- ♥浅い井戸：根の生長が不十分な時期に施肥した窒素は、雨が降るとすぐに流れてしまう。
- ♥深い井戸：降水や施肥管理の影響が小さい

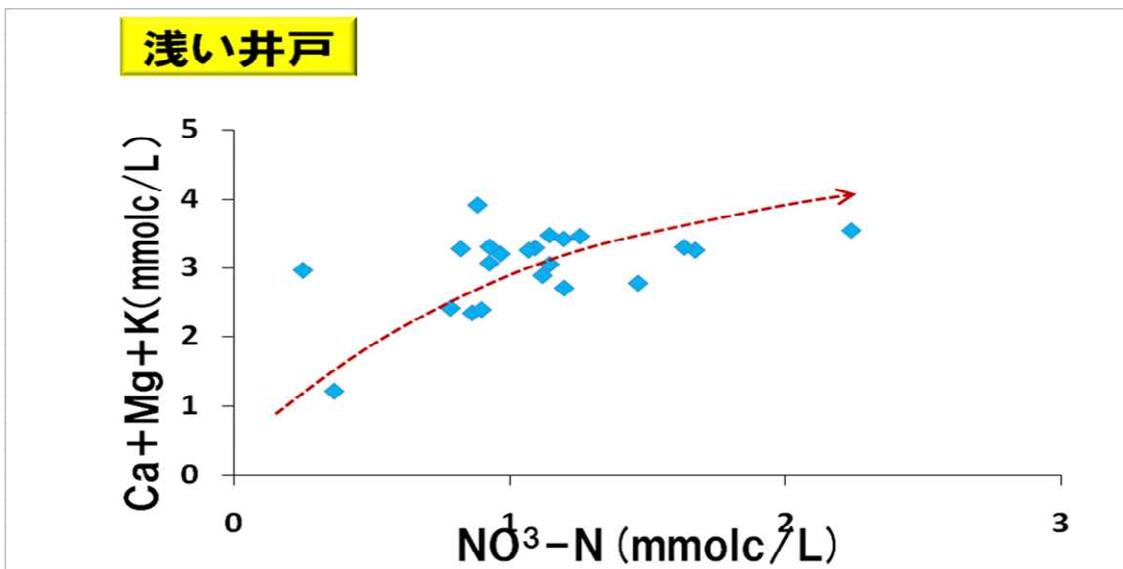
この図は雨の量と肥料をまく時期をあわせると、どのぐらい硝酸態窒素とアンモニアが流れているか、わかりました。



浅い井戸はリン濃度が高く環境基準値を大きく超えていました。  
 深い井戸はそんなにリンが流れていないことがわかりました。



リン酸は、硝酸よりも遅れて流れています。リンは粘質火山灰層に吸着されますが、硝酸は流れこの層を通過するため、深い井戸は徐々に硝酸濃度が上昇します。



硝酸流亡に伴う他肥料成分の溶脱、大事な栄養素です。

## まとめ

ラッキョウの生育・養分吸収と施肥タイミングのミスマッチを避けるべきです。肥料成分のほとんどはラッキョウの生育が不十分な時期に流れていました。

- ① 根のない時期（養分吸収量が少ない時期）、根のない場所の施肥を避け、元肥の施与時期の見直し、局所施与
- ② ゆっくりと成分が溶け出す肥料（肥効調節型肥料）を使う。砂丘土壌は肥料成分の保持容量が小さい。
- ③ 砂丘土壌の養分保持能を高める改良資材を加える。

砂丘地における環境保全型農業のススメ

- 環境（地下水）の保全，食の安全，持続的な農業生産
- 鳥取の農業のイメージアップ，ブランド力の向上（鳥取ってすごい！！）
- 生産農家，地域の活性化（やる気満々！！）
- 県民（生産者・消費者）も環境もみんなハッピー

環境に調和した持続性の高い農業生産方式への転換 食料生産，生物の生存の基盤である土壌資源，水資源を守るために、全世界が取り組まなければならない緊急の課題です。

### (3) 国際交流・文化体験

#### 第47回鳥取しゃんしゃん祭り

鳥取市で行われた「しゃんしゃん祭り」に参加しました。傘踊りは踊ったことがなかったのですが、鳥取ブラジル友好協会の方に教えてもらったり、鳥取大学で毎週練習しました。最初は動きがみんなより遅れてしまって大変でしたが、本番はよく踊ることができたと思います。

また、オープニングパレードの時にアナウンサーが私たちブラジル連の紹介をしてくれました。その時、道路にいた子どもが「あれ？ブラジル人はいないよ」と言っているのが聞こえて、子どもが考える「ブラジル人」と自分の外見が違ったのでおもしろいと思いました。



#### 子どものための異文化理解体験講座

鳥取県東部で財団主催「子どものための異文化理解体験講座」講師として小学校に出かけました。ブラジルの各地域の珍しい動物、祭り、伝統的な食べ物、ブラジルと日本の季節の違いなどを紹介しました。子どもたちはブラジルの料理と祭りのことに本当にビックリしていました。特にブラジルのシュラスコ（焼肉）とクリスマスの飾りのことに。また岩美西小学校の子どもたちが手作りのらっきょうをくれて、とてもうれしかったです。冷蔵庫に置いてあるらっきょうを見たら、子どもたちのことを思い出しました。子どもたちが日本から遠い国のことを知ってくれて、楽しんでくれて本当にうれしかったです。



## 第31回全国豊かな海づくり大会

鳥取市で行われた「第31回全国豊かな海づくり大会・食のみやこフェスティバル」に参加しました。鳥取ブラジル交流団体連絡協議会の人たちがブラジルコーヒーを売るのを手伝いました。



## 国内旅行



**暑い夏に土壌合宿…  
とってもがんばったよ！！**



**奈良、兵庫、日光、南部町、雨滝…  
みんなで旅行たのしかったなあ。  
南部町のおじいちゃん、おばあちゃん。  
会えてとてもうれしかったです。**





毎週 研究室のみんなと  
地下水の採取に行きました♪



## 5 終わりに

日本社会や日本文化の知識をたくさん増やすことができました。日系人として、ブラジル鳥取県人会会員として、日本と鳥取県のことを勉強できて、とても良かったです。鳥取で勉強したことは、ブラジルで教師をしながら人に教えたいと思います。鳥取に来ることができて、少し大人になったと思います。

お世話になった鳥取大学の山本定博先生、研究室のみなさん、鳥取県国際交流財団のみなさん、鳥取ブラジル友好協会のみなさん、裕三くん、お世話になったたくさんの方々に心から感謝します。





# **JICA医療研修員**

**(モンゴル中央県)**

## 1 研修員プロフィール



氏 名 サンダグ・トゥグスバヤル  
 生年月日 1972年12月7日 (38歳)  
 出身地 モンゴル国中央県ズーンモト市  
 研修分野 産婦人科 (医師)



氏 名 バトムンフ・ゲレルマー  
 生年月日 1970年3月4日 (41歳)  
 出身地 モンゴル国中央県バヤンウンジュール町  
 研修分野 産婦人科 (助産師)

## 2 研修機関の概要

機関名 鳥取県立中央病院  
 代表者 鳥取県立中央病院 院長 武田 倬  
 指導者 鳥取県立中央病院 医療局長 皆川 幸久、産婦人科医長 池野 慎治

## 3 研修経過

期日	研修内容	
9/25 (日)		来日 (ウランバートル空港→仁川空港→米子空港)
9/26 (月)	午前	オリエンテーション
	午後	開講式、手術見学
9/27 (火)	午前	妊娠関連講義、病棟回診
	午後	手術見学
9/28 (水)	午前	外来研修
	午後	両親学級、ハイリスク妊娠外来見学、症例検討会
9/29 (木)	午前	外来研修
	午後	手術見学
9/30 (金)	午前	病棟回診
	午後	研修会、鳥取県東部産婦人科臨床懇話会
10/1 (土)		休日
10/2 (日)		休日

10/3 (月)	午前 午後	外来研修 手術見学
10/4 (火)	午前 午後	妊娠関連講義 手術見学
10/5 (水)	午前 午後	外来研修 ハイリスク妊娠外来見学、症例検討会
10/6 (木)	午前 午後	外来研修外来見学 手術見学
10/7 (金)	午前 午後	病棟回診 研修会
10/8 (土)		休日
10/9 (日)		休日
10/10 (月)		休日 (祝日)
10/11 (火)	午前 午後	妊娠関連講義 手術見学
10/12 (水)	午前 午後	外来研修 両親学級、ハイリスク妊娠外来見学、症例検討会、周産期カンファレンス
10/13 (木)	午前 午後	外来研修外来見学 手術見学
10/14 (金)	午前 午後	病棟回診 研修会
10/15 (土)		休日
10/16 (日)		休日
10/17 (月)	午前 午後	外来研修 手術見学
10/18 (火)	午前 午後	妊娠関連講義 手術見学
10/19 (水)	午前 午後	外来研修 両親学級、ハイリスク妊娠外来見学、症例検討会
10/20 (木)	午前 午後	外来研修外来見学 金沢へ移動
10/21 (金)	終日	第32回日本妊娠高血圧学会参加 in 金沢
10/22 (土)	終日	第32回日本妊娠高血圧学会参加 in 金沢
10/23 (日)	午前	鳥取へ移動
10/24 (月)		副知事表敬、閉講式
10/25 (火)		帰国 (米子空港 → 仁川空港 → ウランバートル空港)

#### 4 研修報告

研修報告会で使用したパワーポイント資料をもって、研修報告とする。

# 周産期医療研修レポート

## 鳥取県立中央病院

2011年10月24日

モンゴル研修員 バトムフ・ゲレルマー  
サンダグ・トゥグスバヤル

## 研修内容

1. PIH妊婦の管理、指導、産後ケア
2. 胎児心拍モニタリング技術を学習（付け方、記録の読み方、分娩時の使用法）
3. 妊婦指導  
周産期異常時の指導、栄養指導、おっぱいケア、体重管理、口腔ヘルス
4. 分娩見学：正常妊婦、PIH妊婦の分娩時の対応、パルトグラム記載等
5. 手術見学：帝王切開術時の助産師業務について
6. 新生児ケアと検診見学
  - PIHの母体から生まれた新生児ケア
  - 出生後のケア
  - 退院後 検診
7. 金沢市にて PIH学会に参加

## 胎児心拍モニタリングについて学習



## 新生児検診



体重計測



K-2シロップの用意



新生児の沐浴



## 新生児NICU見学



蘇生器具



脳波測定器



呼吸器



超音波診断装置

## 外来見学



胎児心拍モニタリング、計測等を行う

## 帝王切開見学



新生児蘇生法、新生児臍帯血液ガス検査について学習



## 看護専門学校学生による カンファレンスに参加



肥満妊婦の妊娠経過について話し合う

## 金沢市PIH学会に参加



## 帰国後の研修活用について

1. 妊婦指導
  - PIH妊婦、正常妊婦への周産期指導
2. 普及活動
  - 中央県中央病院の助産師、看護師、また中央県27町の助産師に妊婦指導、胎児心拍モニタリング、新生児沐浴と検診時のケア等について指導を行う
  - 産婦人科医師らにPIH管理と診療について指導を行う
3. 分娩室と外来での胎児心拍モニターの使用
  - PIH妊娠管理改善に取り組む

# 歷代研修員等名簿



海外技術研修員等 受入人数総括表

	ブラジル	中 国 河北省	中 国 吉林省	中 国 その他	韓 国 江 原 道	モンゴル 中 央 県	その他	計
海外技術研修員 (ブラジル 1988 年～) (モンゴル 1995 年～) (吉林省 1995～2003 年)	3 4		1 2			2 1	1	6 8
河北省技術研修生 (1992～93 年)		3						3
河北省農林漁業研究生 (1988～2003 年)		2 6						2 6
河北省農業緑化研修生 (1987～2003 年)		7 7						7 7
黒龍江省農業研修生 (1995 年)				3				3
江原道行政実務研修生 (1993 年～)					1 5			1 5
自治体職員協力交流研修員 (全 体 1996 年～) (吉林省 1999 年～) (江原道 1998 年～)			1 2	1	1 0		3	2 6
外務省長期招聘事業研修員 (1995～2000 年)							6	6
J I C A 自治体連携研修員 (1999～2004 年)						4		4
J I C A 医療研修員 (2010 年～)						4		4
ブラジル県費留学生 (1965 年～)	5 9							5 9
ブラジル短期再研修員 (2009～10 年)	2							2
計	9 5	1 0 6	2 4	4	2 5	2 9	1 0	2 9 3

## 海外技術研修員

年 度	国籍・出身地	氏 名	性別	研修内容	研修先
1988 (昭和 63)	ブラジル	中原 清治 バウロ	男	農地灌漑	鳥取大学農学部
1989 (平成元)	ブラジル	伊藤 誠 バウロ	男	園芸 (果実処理 技術)	鳥取大学農学部
		山根 猛 セルジオ	男	コンピュータ ・システム	鳥取大学工学部、鳥取県情報 センター
1990 (平成 2)	ブラジル	伊藤 万里夫	男	歯科治療	県立中央病院
		河上 リジア ベロニカ	女	理学療法	皆生小児療育センター
1991 (平成 3)	ブラジル	西尾 リナ 佳代子	女	建設設計	米子工業高等専門学校
		菊留 恵 ルシア	女		
1992 (平成 4)	ブラジル	河上 ファビオ 竹一	男	システム工学	鳥取大学工学部
1993 (平成 5)	ブラジル	門脇 エジソン	男	農業分析化学	鳥取大学農学部
		加藤 モニカ みち子	女	グラフィック ・デザイン	米子工業高等専門学校
1994 (平成 6)	ブラジル	細田 眞一 エルシオ	男	果樹栽培	鳥取大学農学部
		米原 ルシアーナ	女	海水魚栽培	県水産試験場
1995 (平成 7)	ブラジル	加藤 ベロニカ あけみ	女	歯科治療	県立中央病院
		河上 マリシー	女	企業経営	鳥取ガス
	中国吉林省	林 建華 (リン ジェンホフ)	女	衛生行政	県医務薬事課
	モンゴル中央県	ダグワドルジ バトバヤル	男	地方行政	県市町村振興課
1996 (平成 8)	ブラジル	河井 美智恵 ルシアーナ	女	臨床検査	県立中央病院
	中国吉林省	沈 在成 (チン ザイチェン)	男	商工行政	県商政課
1997 (平成 9)	ブラジル	西坂 マルリ れいか	女	会計事務	中尾税経事務所
		吉田 ますみ ルシー	女	歯科治療	県立中央病院
	中国吉林省	陳 香林 (チン シャンリン)	女	商工行政	県商政課
	モンゴル中央県	バヤルバト ボルドバートル	男	行政一般	県市町村振興課
1998 (平成 10)	ブラジル	中尾 ソランジェ	女	広告一般	デザインスタジオ石山
		曹 仁秋 (ツァオ レンチュウ)	男	商工行政	県商政課
	中国吉林省	杜 軍 (ドゥ ジュン)	男	環境行政	県衛生研究所
		モンゴル中央県	バルガルスレン エルデネバト	男	農業
ツェレンドルジ アリマントヤ	女				
1999 (平成 11)	ブラジル	岩水 ミリアン 恵美	女	食品加工	大伸水産
		高橋 クリスティーナ 理恵	女	広報・報道	新日本海新聞社
	中国吉林省	玉 冬輝 (ワン ドンフィ)	男	商工行政	県商政課
	モンゴル中央県	トゥグスオチル バヤルフー	女	農業	農業大学校、園芸試験場、鳥 取農業改良普及センター
ソソルバラム ウラーンツェグ		女			
2000 (平成 12)	ブラジル	西森 由美香	女	歯科治療	県立中央病院
		山本 リア	女	土木	県管理課

2000 (平成 12)	中国吉林省	崔 成岩 (ツウイ チョンヤン)	男	商工行政	県経済通商課
	モンゴル中央県	エレンダワー ガンボルド	男	野菜栽培	農業大学校、園芸試験場、鳥取農業改良普及部
		ナワンバルダン トウムルトヤ	女		
2001 (平成 13)	ブラジル	大原 高取 ビビアネ	女	宣伝・広告	鳥取県産業技術センター
	中国吉林省	呉 英蘭 (ウ イェンラン)	女	商工行政	県経済通商課
	モンゴル中央県	チョイジャムツ バヤラー	男	野菜栽培	農業大学校、園芸試験場、鳥取農業改良普及部
		ソンドイ ウランチメグ	女		
2002 (平成 14)	ブラジル	エリカ サナエ カゲヤマ	女	建築	杵村建築設計事務所、米子工業高等専門学校
	パラグアイ	谷口 まゆみ	女	情報技術	エコシステムクリエイター
	中国吉林省	許 長春 (シウ チャンチュン)	男	環境	県衛生環境研究所
		郭 大衛 (クオ ターウェイ)	男	商工行政	県経済交流課
	モンゴル中央県	スレンホルロ ガンチメグ	女	野菜栽培	農業大学校、園芸試験場、八頭農業改良普及所
		バトジャルガル ツォグトサラン	男		
2003 (平成 15)	ブラジル	エリカ ナオミ カトウ	女	環境	県生活環境部
		ルシアナ ケラ	女	都市設計	県環境政策課、白兔設計事務所、鳥取環境大学
	中国吉林省	李 守祥 (リ シュショウ)	男	環境	県環境政策課、衛生研究所
		朴 晟 (ピャオ シュン)	男	商工行政	県経済交流課
	モンゴル中央県	ダシゼバグ チョルーンツェツェグ	女	農業	農業大学校、園芸試験場、鳥取大学農学部
2004 (平成 16)	ブラジル	ジナー サユリ イワミズ	女	建築設計	鳥取環境大学
	モンゴル中央県	オンゴードイ ムンフトヤ	女	農業	農業大学校、園芸試験場
2005 (平成 17)	ブラジル	サンドラ アケミ ナリタ	女	報道	新日本海新聞社等
	モンゴル中央県	ウダバルバダム エルデネバト	男	農業	農業大学校、園芸試験場
2006 (平成 18)	ブラジル	エリキ フナバシ	男	食品流通	中井酒造株式会社、県市場開拓監、県文化観光局
	モンゴル中央県	ゲンデンブレブ ガンバト	男	農業	農業大学校、園芸試験場
2007 (平成 19)	ブラジル	ミリアン ハルキ キノシタ	女	福祉保健	総合療育センター
	モンゴル中央県	バルジンニヤム バトソーリ	男	農業	農業大学校、園芸試験場
2008 (平成 20)	ブラジル	マルガレッタ タエコ フカクサ	女	国際貿易	㈱さかいみなと貿易センター
	モンゴル中央県	トゥグスオチル バヤルフー	女	農業	農業大学校
2009 (平成 21)	ブラジル	アレシャンドレ アラキ	男	放送関係	中海テレビ
	モンゴル中央県	ミヤグマル ダシドラム	女	農業	農業大学校
2010 (平成 22)	ブラジル	ジェシカ ユリ ネブヤ	女	広告業	㈱エス・アイ・シー
	モンゴル中央県	ルンデー ツォグトバヤル	男	農業	農業大学校
2011 (平成 23)	ブラジル	ヘルソン ユーゾウ カミムラ シミズ	男	人事管理	㈱インタープロス
	モンゴル中央県	ツェレンドルジ・アリマントヤ	女	農業	農業大学校

### 中国河北省技術研修生

年度	氏名	性別	研修内容	研修先
1992 (平成4)	臧 恩宝 (ズァン エンパオ)	男	自動車整備	倉吉高等技術専門校
1993 (平成5)	何 利華 (ホ リーホァ)	男	自動車整備	倉吉高等技術専門校
	王 軍 (ワン ジュン)	男		

### 中国河北省農林漁業研究者

年度	氏名	所属	性別	研修内容	研修先
1988 (昭和63)	殷 録閣 (イン ルーコウ)	水産研究所	男	栽培漁業	栽培漁業試験場
	何 建平 (ホー チンピン)	秦皇島市畜牧水産局	男		
1989 (平成元)	閻 乃庚 (エン ダイコウ)	農林科学院	男	果樹栽培	果樹野菜試験場
	李 光照 (リ グァンジャオ)		男		
1990 (平成2)	焦 長明 (チャオ チャンミン)	農林科学院	男	生物学	果樹野菜試験場
1991 (平成3)	程 增書 (チョン ゾンシュ)	農林科学院	男	生物学	果樹野菜試験場
	高 延庁 (ガオ イェンティン)	河北省林業局	男		
1992 (平成4)	張 麗潔 (ジャン リジェ)	農林科学院	女	果樹栽培	園芸試験場
	崔 洋 (ツイ ヤン)		男	生物学	鳥取大学
1993 (平成5)	吐 永清 (トゥ ヨンチン)	固安県蔬菜管理局	男	野菜栽培	園芸試験場
	曾 憲坤 (ゾン シェヌクウス)	永清県林業局	男	砂地果樹	
1994 (平成6)	高 志傑 (ガオ ジジェ)	農林科学院	男	野菜栽培	園芸試験場
	張 素芳 (チャン スーファン)		女	土壌肥料	農業試験場
1995 (平成7)	斉 秀菊 (チィ シウジュ)	農林科学院	女	野菜病害防除	園芸試験場
1996 (平成8)	高 林森 (ガオ リヌセス)	農林科学院等	男	甘柿栽培	園芸試験場
	高 延庁 (ガオ イェンティン)		男	花き栽培	
	溢 春秀 (イ チュヌシウ)		女		
	及 華 (ジィ ホァ)		女		
1997 (平成9)	孫 嵐国 (スヌ ラヌグオ)	農林科学院	男	果樹栽培	園芸試験場
1998 (平成10)	楊 建波 (ヤン ジェヌボ)	大名県林業局	男	果樹栽培	園芸試験場
1999 (平成11)	姜 玉生 (ジァン ユイション)	固安県蔬菜管理局	男	野菜栽培	園芸試験場
2000 (平成12)	李 克健 (リ コウチン)	曲陽県林業局	男	果樹栽培	園芸試験場
	王 明秋 (ワン ミンシュウ)	農林科学院	男	野菜栽培	
2001 (平成13)	馮 樹亮 (フォン シュリアン)	農林科学院	男	防除技術	園芸試験場
2002 (平成14)	鄭 礼 (チョン リー)	農林科学院	男	防除技術	園芸試験場
2003 (平成15)	鄭 礼 (チョン リー)	農林科学院	男	防除技術	園芸試験場

### 中国河北省農業研修生・緑化研修生

年度	区分	氏名	性別	研修内容	研修先及び受入農家
1987 (昭和62)	団長	邸 濟民 (テイ ジーミン)	男	果樹栽培	東伯郡関金町 山本守夫氏
	副団長	王 国華 (ワン グォホァ)	男	野菜栽培	倉吉市 河本増雄氏

1987 (昭和 62)	団員	高 延庁 (ガオ イエンティン)	男	果樹栽培	東伯郡東伯町 河本茂氏
		張 風榮 (ジャン フォンロン)	男	花き栽培	気高郡鹿野町 今本徹氏
		王 迎濤 (ワン インタオ)	男	果樹栽培	倉吉市 田中秀人氏
1988 (昭和 63)	団長	張 連仁 (ジャン リエンレン)	男	果樹栽培	倉吉市 福井光隆氏
	副団長	韓 振延 (ハン ジェンイェン)	男		東伯郡関金町 山本守夫氏
	団員	王 強 (ワン チャン)	男		東伯郡赤碓町 石賀昭一氏
		彭 進友 (ボン ジンイオウ)	男		倉吉市 松本俊一氏
1989 (平成元)	団長	邢 永才 (ジン ヨンツァイ)	男	果樹栽培	農業大学校、西伯郡中山町 井上智光氏
	団員	梁 義春 (リャン イーチュン)	男		農業大学校、西伯郡会見町 赤井利幸氏
		徐 東端 (シュイ ドンドアン)	男	野菜栽培	農業大学校、倉吉市 上村富士雄氏
		蔣 喜田 (ジャン シーチアン)	男		農業大学校、東伯郡大栄町 梅津良善氏
1990 (平成 2)	団長	王 振一 (ワン ジェンイ)	男	果樹栽培	農業大学校、倉吉市 大野俊一氏
	団員	周 延文 (ジョウ イアンウエン)	男	野菜栽培	農業大学校、東伯郡北条町 石川孝平氏
		劉 福辰 (リュウ フウチェン)	男	畜産	農業大学校、東伯郡東伯町 川本正一郎氏
1991 (平成 3)	団長	楊 大字 (ヤン ダウイ)	男	果樹栽培	農業大学校、鳥取市 鈴木初巳氏
	団員	張 少飛 (ジャン シャオフェイ)	男		農業大学校、岩美郡福部村 安田豊実氏
		高 林森 (ガオ リンセン)	男	イチゴ	農業大学校、気高郡青谷町 田中正人氏
		吳 鉄園 (ゴ テイエユアン)	男	果樹 (機械)	農業大学校、八頭郡八東町 秋山宏樹氏
		席 会民 (シィ ホオイミン)	男		農業大学校、八頭郡郡家町 小林洋吉氏
1992 (平成 4)	団長	高 玉軍 (ガオ ユイジュン)	男	果樹栽培	農業大学校、米子市 前田貢氏
	団員	謝 曉亮 (シェ シャオリアン)	男		農業大学校、西伯郡淀江町 綾木健一氏
		魏 建国 (ウェイ ジェングォ)	男		農業大学校、西伯郡会見町 石塚誠一氏
		段 丙武 (ダン ビンウ)	男		農業大学校、西伯郡名和町 岩井幸氏
	胡 英輝 (フウ インホアイ)	男	野菜栽培	農業大学校、日野郡溝口町 遠藤達也氏	
1993 (平成 5)	団長	白 韶雪 (バイ シャオシュエ)	男	果樹栽培	農業大学校、東伯郡東郷町 森田久好氏
	団員	丁 振京 (ティン ジェンジン)	男		農業大学校、東伯郡関金町 藤井一良氏
		魏 建秋 (ウェイ ジェンチウ)	男		農業大学校、東伯郡赤碓町 入江重吉氏
		李 志強 (リ ジチャン)	男	酪農	農業大学校、東伯郡東伯町 徳丸安男氏
		李 躍進 (リ ユエジン)	男	砂丘園芸	農業大学校、東伯郡北条町 橋田富裕氏
1994 (平成 6)	団長	張 曉義 (ジャン シャオイー)	男	野菜栽培	農業大学校、八頭郡八東町 小谷広太郎氏
	団員	王 忠 (ワン ジョオン)	男	果樹栽培	農業大学校、鳥取市 鈴木茂氏
		陳 雪 (チェン シュエ)	男		農業大学校、八頭郡佐治村 西尾明俊氏
		榮 新 (ルウオン シン)	男		農業大学校、岩美郡福部村 山根徳之氏
		邵 吉祥 (シャオ ジシアン)	男		農業大学校、岩美郡福部村 安田豊実氏
1995 (平成 7)	団長	孫 風国 (ジュン クニクオ)	男	果樹栽培	農業大学校、西伯郡大山町 提嶋勇治氏
	団員	鮑 紀剛 (バオ チークァン)	男		農業大学校、西伯郡会見町 赤井剛毅氏
		張 威 (チャン ウィ)	男	野菜栽培	農業大学校、西伯郡中山町 秋田実氏
		趙 志軍 (チャオ チージュン)	男		農業大学校、米子市 福島康孝氏

1995 (平成 7)	団員	千 海良 (ユ ハイリヤン)	男	畜産栽培	農業大学校、西伯郡名和町 谷永憲雄氏
1996 (平成 8)	団長	馬 建秋 (マー チェンチュウ)	男	果樹栽培	農業大学校、東伯郡関金町 藤井一良氏
	団員	曹 海峰 (ツァオ ファンフエン)	男		農業大学校、東伯郡東伯町 岩本典行氏
		楊 金昭 (ヤン チンチャオ)	男		農業大学校、東伯郡東郷町 谷口憲昭氏
		崔 増力 (ツイ チェンリ)	男	野菜栽培	農業大学校、東伯郡大栄町 山下正美氏
		馬 国平 (マー クォピン)	男		農業大学校、東伯郡大栄町 森本真樹男氏
1997 (平成 9)	団長	劉 偉 (リュウ ウェ)	男	果樹栽培	農業大学校、岩美郡福部村 安田豊実氏
	団員	張 孟傑 (ハン モンジェ)	男		農業大学校、八頭郡八東町 木原剛嗣氏
		祈 建増 (チイ ジェンゾン)	男		野菜栽培
		姚 聖軍 (ヤオ ションジュン)	男	甘柿	
		張 加国 (ジャン ジアグオ)	男		農業大学校、八頭郡都家町 野田稔氏
		李 鉄山 (リ テイエシヤン)	男		
1998 (平成 10)	団長	張 志安 (ジャン チアアン)	男	果樹栽培	農業大学校、西伯郡淀江町 清水綾子氏
	団員	韓 偉 (ハン ウェイ)	男		農業大学校、西伯郡名和町 米沢誠一氏
		封 志平 (フウ チピン)	男	野菜栽培	農業大学校、西伯郡会見町 石塚誠一氏
		丁 雪京 (ディン シュエジン)	男		農業大学校、境港市 渡部武治氏
		趙 利波 (チァオ リーブウ)	男		農業大学校、西伯郡中山町 秋田実氏
		崔 良龍 (ツイ リヤンロン)	男	農業大学校、日野郡日南町 池田尚弘氏	
1999 (平成 11)	団長	呉 炳奇 (ウー ジュンウェン)	男	果樹栽培	農業大学校、東伯郡東郷町 谷口憲昭氏
	団員	高 俊文 (カオ ジュンウェン)	男		農業大学校、東伯郡赤碕町 田中哲馬氏
		尼 群周 (ニー チュンチョウ)	男	野菜栽培	農業大学校、東伯郡東郷町 福本巧氏
		武 斌 (ウー ビン)	男		農業大学校、東伯郡大栄町 梅津博文氏
		王 海東 (ワン ハイドン)	男		農業大学校、東伯郡東伯町 小前二郎氏
		蔣 丙文 (ジャン ビンウェン)	男		農業大学校、倉吉市 大野俊一氏
2000 (平成 12)	団長	魏 建国 (ウェイ ジェングー)	男	果樹栽培	農業大学校、八頭郡八東町 秋山宏樹氏
	団員	馬 海国 (マ ハイグー)	男		農業大学校、気高郡青谷町 長谷川義博氏
		楊 端剛 (ヤン ルイガン)	男	野菜栽培	農業大学校、八頭郡八東町 小谷廣太郎氏
		魯 明 (ルー ミン)	男	野菜栽培	農業大学校、八頭郡都家町 毛利克征氏
2002 (平成 14)	団長	王 春龍 (ワン チュンロン)	男	林業	鳥取県山林樹苗協同組合、林業試験場
	団員	肖 鋒 (シアウ フォン)	男		
		于 小軍 (ウィ シアオジュン)	男		
		王 鉄峰 (ワン テイエフォン)	男		
2003 (平成 15)	団員	楊 耀耀 (ヤン ヤオホイ)	男	林業	鳥取県森林組合連合会、鳥取森林管理署、 鳥取県山林樹苗協同組合
		呉 濤 (ウー タオ)	男		
		柳 全芬 (リュ チュワンフエン)	男	畜産	倉吉家畜保健衛生所、鳥取畜産農業協同組 合、大山乳業農業共同組合
		高 衆迎 (カオ チュンイン)	男		

## 中国黒竜江省農業研修生

年 度	区分	氏 名	性別	研修内容	研修先及び受入農家
1995 (平成7)	団長	梁 桂誠 (リヤン クイチョン)	男	果樹栽培	農業大学校、鳥取市 鈴木茂氏
	団員	牛 明君 (ニウ ミンチュン)	男	野菜栽培	農業大学校、八頭郡八東町 小谷広太郎氏
		李 光印 (リ コワンイン)	男	稲作・果樹	農業大学校、八頭郡佐治村 西尾明敏氏

## 韓国江原道行政実務研修生

年 度	氏 名	性別	研修内容	研修先
1993 (平成5)	崔 炯奎 (チェ ヒョンギユ)	男	地方行政	縣市町村振興課
1994 (平成6)	金 星鎬 (キム ソンホ)	男	地方行政	縣市町村振興課
1995 (平成7)	李 昇燮 (イ スンソップ)	男	行政管理	県職員課
1996 (平成8)	朴 根泳 (パク グンニョン)	男	地方行政	縣市町村振興課
1997 (平成9)	鄭 官容 (チョン グァンヨン)	男	行政一般	県環境政策課
1998 (平成10)	李 搗烈 (イ グンニョル)	男	文化行政	県教育委員会文化課
1999 (平成11)	白 昶錫 (ベク チャンソク)	男	行政一般	縣市町村振興課
2000 (平成12)	安 鏞辰 (アン ヨンジン)	男	農業行政	県生産流通課
2001 (平成13)	鄭 丞弼 (チョン スンピル)	男	行政一般	縣市町村振興課
2002 (平成14)	金 光善 (キム グァンソン)	男	農林行政	県農林水産部
2003 (平成15)	盧 希宣 (ノ ヒソン)	女	農林行政	県農林水産部
2004 (平成16)	姜 熙星 (カン ヒソン)	男	行政一般	県総務部
2008 (平成20)	崔 豪洵 (チェ ホスン)	男	行政一般	県商工労働部
2009 (平成21)	李 美靜 (イ ミジョン)	女	行政一般	県教育委員会
2010 (平成22)	吉 煥朱 (キル ファンズ)	男	農林行政	県農林水産部
2011 (平成23)	鄭 行竣 (チョン ヘンジュン)	男	畜産行政	県農林水産部

## 自治体職員協力交流研修員

年 度	国 籍	氏 名	性別	研修内容	研修先
1996 (平成8)	ベトナム	グエン キム フォン	男	商工行政	県商政課
1997 (平成9)	ベトナム	レ バン クイ	男	商工行政	県商政課
1998 (平成10)	韓国 (江原道)	金 東旭 (キム ドンウク)	男	観光行政	県観光課
	マレーシア	モハット ノール ハシム	男	行政一般	県国際課
1999 (平成11)	韓国 (江原道)	黄 貞淑 (ファン ジョンスク)	女	福祉行政	県福祉保健課
	中国 (吉林省)	王 霞 (ワン シャア)	女	環境	県衛生研究所
2000 (平成12)	韓国 (江原道)	全 珍杓 (チョン ジンピョ)	男	福祉行政	県福祉保健課
	中国 (吉林省)	趙 青 (ジャオ チン)	女	環境	県衛生研究所
2001 (平成13)	韓国 (江原道)	金 美慶 (キム ミギョン)	女	福祉行政	県福祉保健課
	中国 (吉林省)	王 立群 (ワン リチュイン)	男	文化行政	県国民文化祭推進局
2002 (平成14)	韓国 (江原道)	林 泰虎 (イム テホ)	男	福祉行政	県福祉保健課
	中国 (吉林省)	王 宏偉 (ワン ホンウエイ)	男	文化行政	県国民文化祭推進局

2003 (平成 15)	韓国 (江原道)	元 鴻植 (ウォン ホンシク)	男	福祉行政	県福祉保健課
		南 鎮宇 (ナム ジンウ)	男	環境行政	県生活環境部
2004 (平成 16)	韓国 (江原道)	姜 桐希 (カン ギョンヒ)	女	福祉行政	県福祉保健課
	中国 (吉林省)	徐 波 (シュウ ボウ)	男	商工行政	県経済交流課
2005 (平成 17)	中国 (吉林省)	李 艳苹 (リ イェンピン)	女	商工行政	県経済交流課
	中国 (河北省)	張 碩 (チャン シュオ)	男	環境行政	県環境政策課
2006 (平成 18)	中国 (吉林省)	衣 飛 (イ フェイ)	女	商工行政	県産業開発課
2007 (平成 19)	中国 (吉林省)	杜 春紅 (ドゥ チュンホン)	女	商工行政	県産業開発課
2008 (平成 20)	中国 (吉林省)	郝 軍 (ハオ ジュン)	男	商工行政	県産業振興戦略総室
	韓国 (江原道)	朴ブルン (パク ブルン)	女	環境政策	県生活環境部
2009 (平成 21)	中国 (吉林省)	周 婧怡 (ジョウ ジンイ)	女	商工行政	県経済通商総室
2010 (平成 22)	中国 (吉林省)	林 曉琳 (リン シャオリン)	女	商工行政	県商工労働部
	韓国 (江原道)	金 蘭姫 (キム ナンヒ)	女	商工行政	県商工労働部
2011 (平成 23)	中国 (吉林省)	金 力 (ジン リー)	男	商工行政	県経済通商総室

### 外務省長期青年招聘事業研修員

年度	国籍	氏名	性別	研修内容	研修先
1995 (平成 7)	モンゴル	ヤンザン セレンゲ	女	商工行政	県商工振興課
1996 (平成 8)	ミャンマー	ミン イン セイン	女	商工行政	県商政課
1998 (平成 10)	ミャンマー	コ コ ナイン	男	商工行政	県商政課
1999 (平成 11)	ベトナム	グエン タイ ビン	男	文化振興	県文化振興課
	カンボジア	サーン ビルナー	男	商工行政	県商政課
2000 (平成 12)	ミャンマー	ナン キン ヌ	女	文化振興	県文化振興課

### 国際協力機構 (JICA) 自治体連携研修員

年度	国籍	氏名	性別	研修内容	研修先
1999 (平成 11)	モンゴル (中央県)	バルジンニヤム デルゲルツォグト	女	循環器科医療	県立中央病院
2000 (平成 12)	モンゴル (中央県)	イシ オユンチメグ	女	内科・産婦人科医療	県立中央病院
2001 (平成 13)	モンゴル (中央県)	ジンバー ビンバジャブ	女	脳神経外科・脳神経内科医療	県立中央病院
2004 (平成 16)	モンゴル (中央県)	スヘー オユンツェツェグ	女	産婦人科医療	県立中央病院

### 国際協力機構 (JICA) 医療研修員

年度	国籍	氏名	性別	研修内容	研修先
2010 (平成 22)	モンゴル (中央県)	サンダグ トッグスバヤル	女	産婦人科医療	県立中央病院
		ルハグジャヴ ウランチメグ	女		
2011 (平成 23)	モンゴル (中央県)	サンダグ トッグスバヤル	女	産婦人科医療	県立中央病院
		バトムンフ・ゲレルマー	女		

## ブラジル県費留学生

年 度	氏 名	出身市町村(旧名)	性別	大学等	学 部	専 攻
1965 (昭和 40)	山添 勝子	若桜町	女	鳥取大学	教育学部	
1966 (昭和 41)	中井 佐代子	倉吉市	女	鳥取大学	教育学部	児童心理
1967 (昭和 42)	中井 佐代子	倉吉市	女	鳥取大学	教育学部	児童心理
1968 (昭和 43)	橋浦 晴江	岩美町	女	鳥取大学	教育学部	児童教育
1969 (昭和 44)	橋浦 晴江	岩美町	女	鳥取大学	教育学部	児童教育
	山添 美智子	若桜町	女	鳥取大学	教育学部	農村社会
1970 (昭和 45)	鈴木 陽子	鳥取市	女	鳥取大学	工学部	建築
	伊木 信子	倉吉市	女	鳥取大学	教育学部	体育
1971 (昭和 46)	成田 敬	米子市	男	鳥取大学	教育学部	産業概論
	明德 薫	琴浦町(東伯町)	男	鳥取大学	工学部	地域計画
1973 (昭和 48)	加藤 ルイザ	北栄町(北条町)	女	鳥取大学	教育学部	教育制度
	加藤 輝子 ネリー		女	鳥取大学	教育学部	障害児教育
1974 (昭和 49)	平 ネウザ	日野町	女	鳥取大学	教育学部	国際貿易
	松下 美智子 エレーナ	八頭町(船岡町)	女	鳥取大学	教育学部	社会福祉
1975 (昭和 50)	徳尾 リリア 淑子	日南町	女	鳥取大学	医学部	労働医学
	加藤 早苗 アンナ	北栄町(大栄町)	女	鳥取大学	教育学部	日本語
1976 (昭和 51)	伊藤 初美	湯梨浜町(東郷町)	女	鳥取大学	工学部	建築
1977 (昭和 52)	伊藤 初美	湯梨浜町(東郷町)	女	鳥取大学	工学部	建築
	渡部 輝子	境港市	女	鳥取大学	教育学部	日本文化・教育制度
1978 (昭和 53)	竹内 綾子	倉吉市	女	鳥取大学	教育学部	体育
	前原 一禮	米子市	男	鳥取大学	農学部	農業経営
1979 (昭和 54)	平木 育子	米子市	女	鳥取大学	医学部	小児科
	岩本 増典	三朝町	男	鳥取大学	医学部	婦人科
1980 (昭和 55)	高見 ロウルデス 早苗	倉吉市	女	鳥取大学	医学部	細菌学
	菊留 曉美	三朝町	女	鳥取大学	教育学部	心理学
1981 (昭和 56)	伊藤 清美	湯梨浜町(東郷町)	女	鳥取大学	教育学部	栄養学
	山下 八重子	三朝町	女	鳥取大学	工学部	地域計画
1982 (昭和 57)	平木 悦子	米子市	女	鳥取大学	医学部	産婦人科
	孝美 アメリア 美知江	倉吉市	女	鳥取大学	工学部	電機計算機
1983 (昭和 58)	霜田 美夕起	湯梨浜町(東郷町)	女	鳥取大学	医学部	難聴治療
	橋浦 富代	岩美町	女	鳥取大学	教育学部	地理学、自然科学
1984 (昭和 59)	岩本 デニゼ	三朝町	女	鳥取大学	工学部	都市計画
	岩本 エリーゼ 明己		女	鳥取大学	医学部	歯科
1985 (昭和 60)	加藤 五月 デイジー	鳥取市	女	鳥取大学	教育学部	現代日本語基礎教授法
	桑田 クリスティーナ 愛子	若桜町	女	鳥取大学	医学部	ウイルス学

1986 (昭和 61)	関山 理香 ジュリエッタ	鳥取市	女	鳥取大学	医学部	内科学
	長田 デルザ	倉吉市	女	鳥取大学	医学部	衛生産科婦人科学
1987 (昭和 62)	河崎 幸子 クレミルダ	倉吉市	女	鳥取大学	工学部	コンピューター
	小村 真澄 マリーザ	伯耆町 (岸本町)	女	鳥取大学	工学部	コンピューター
1988 (昭和 63)	武田 さつき ジュリア	伯耆町 (溝口町)	女	鳥取大学	教育学部	デザイン
1989 (平成元)	川崎 ミチエ クリスティーナ	琴浦町 (東伯町)	女	鳥取大学	工学部	土木材料学
1990 (平成 2)	吉田 美幸 ミリアン	鳥取市 (福部村)	女	米子工業高等 専門学校	建築学科	日本の建築技術等
1991 (平成 3)	本橋 敏江 クリスティーナ	鳥取市	女	鳥取大学	工学部	知能情報工学
1992 (平成 4)	清水 ラケル	鳥取市	女	鳥取大学	教養部	保健体育学
1993 (平成 5)	羽島 月江	米子市	女	米子工業高等 専門学校	建築学科	デザイン
1994 (平成 6)	澁田 クリスティーナ あゆみ	鳥取市	女	鳥取大学	教養部	日本語
1995 (平成 7)	清水 デニーゼ	鳥取市	女	鳥取大学	工学部	地質水質学
1996 (平成 8)	西尾 エリーザ 真理	鳥取市 (河原町)	女	鳥取大学	工学部	品質管理
1999 (平成 11)	細田 アダウベルト 英二	伯耆町 (溝口町)	男	鳥取大学	地域教育学部	情報処理
2000 (平成 12)	大橋 ルシア みちこ	智頭町	女	鳥取大学	農学部	水質浄化
2001 (平成 13)	井上 友子 マルガリータ	米子市	女	鳥取大学	農学部	農業経営
2003 (平成 15)	カーリーナ メグミ ニシオ	鳥取市 (河原町)	女	鳥取大学	農学部	食品衛生・畜産物 加工
2004 (平成 16)	ウゴ ヤマシロ	八頭町 (船岡町)	男	鳥取大学	医学部	内科学
2005 (平成 17)	スエナガ アユミ	八頭町 (郡家町)	女	鳥取環境大学	環境政策学科	環境政策
2006 (平成 18)	ルセリア ユミ イヌマル	境港市	女	鳥取大学	地域学部	幼児教育
2008 (平成 20)	ファビオ ユウジ ニシサカ		男	鳥取大学	工学部	機械工学
2009 (平成 21)	カチア ルリ モリオカ	鳥取市	女	鳥取大学	工学部	工業技術
2010 (平成 22)	アンドレ コウジ ニシサカ	米子市、倉吉市	男	鳥取大学	医学部	口腔外科
2011 (平成 23)	カチア エミ タダ	米子市、会見町	女	鳥取大学	農学部	生物資源環境学科

### ブラジル短期再研修員

年 度	氏 名	出身市町村(旧名)	性別	研修内容	研修先
2009 (平成 21)	カトウ ベロニカ アケミ	日野郡	女	歯科治療	鳥取赤十字病院歯科口腔外科
2010 (平成 22)	マルリ レイカ ニシザカ ナ カムラ	倉吉市	女	会計事務、化粧品等 販売代理店業務	(株)中尾税経総合事務所 (株)シャルビー

2011年度（平成23年度）  
鳥取県海外技術研修員等  
研修報告書

2012年（平成24年）4月

発行 鳥取県文化観光局交流推進課  
〒680-8570  
鳥取市東町一丁目220  
電話0857-26-7842